

【図表1】ランキングごとに異なる大学の顔ぶれ～THEの各ランキングにランクインした日本の大学例

世界版2020

順位	区分	教育機関
=36	国	東京大学
65	国	京都大学
251-300	国	東北大学
251-300	国	東京工業大学
301-350	国	名古屋大学
301-350	国	大阪大学
351-400	私	産業医科大学
401-500	私	藤田医科大学
401-500	国	北海道大学
401-500	国	九州大学
401-500	私	帝京大学
401-500	国	東京医科大学
401-500	国	筑波大学
501-600	私	関西医科大学
501-600	公	横浜市立大学
601-800	公	会津大学
601-800	国	広島大学
601-800	私	東京慈恵会医科大学
601-800	私	慶應義塾大学
601-800	私	近畿大学
601-800	国	神戸大学
601-800	私	久留米大学
601-800	私	日本医科大学
601-800	公	東京都立大学
601-800	私	早稲田大学
801-1000	私	愛知医科大学
801-1000	国	千葉大学
801-1000	国	浜松医科大学
801-1000	私	兵庫医科大学
801-1000	私	順天堂大学
801-1000	国	金沢大学
801-1000	国	熊本大学
801-1000	公	京都府立医科大学
801-1000	国	室蘭工業大学
801-1000	国	新潟大学
801-1000	国	岡山大学
801-1000	公	大阪市立大学
801-1000	私	立教大学
801-1000	公	札幌医科大学
801-1000	私	聖マリアンナ医科大学
801-1000	国	東京農工大学
801-1000	私	東京医科大学
801-1000	私	東京理科大学

ほか「1001+位」に67大学がランクイン

アジア版2019

順位	区分	教育機関
8	国	東京大学
11	国	京都大学
30	国	東北大学
=31	国	東京工業大学
34	国	名古屋大学
40	国	大阪大学
58	国	九州大学
66	国	東京医科大学
68	国	北海道大学
=74	私	藤田医科大学
=76	国	筑波大学
=78	私	帝京大学
=80	公	東京都立大学
=116	私	日本医科大学
127	公	横浜市立大学
=138	私	慶應義塾大学
147	私	立教大学
=148	国	広島大学
=156	国	神戸大学
=160	私	会津大学
=166	私	近畿大学
=166	私	早稲田大学
=168	私	千葉大学
=173	国	順天堂大学
=176	私	東京慈恵会医科大学
=186	私	兵庫医科大学
=188	国	東京農工大学
=193	私	東京医科大学
=200	国	金沢大学
=200	国	岡山大学
201-250	国	浜松医科大学
201-250	国	香川大学
201-250	私	関西医科大学
201-250	国	熊本大学
201-250	公	名古屋市立大学
201-250	国	新潟大学
201-250	公	大阪市立大学
201-250	国	信州大学
201-250	私	徳島大学
201-250	私	東京理科大学
251-300	私	愛知医科大学
251-300	国	愛媛大学
251-300	国	電気通信大学
251-300	国	群馬大学
251-300	国	高知大学
251-300	国	九州工業大学
251-300	国	長崎大学
251-300	公	大阪府立大学
251-300	国	佐賀大学
251-300	国	埼玉大学
251-300	私	昭和大学
251-300	私	東邦大学
251-300	国	豊橋技術科学大学
251-300	国	山形大学
251-300	国	山梨大学
251-300	国	横浜国立大学

ほか「301-351位」に23大学、「351-400位」に18大学、「401+位」に5大学がランクイン

日本版2020

順位	区分	教育機関
1	国	東北大学
2	国	京都大学
=3	国	東京大学
=3	国	東京工業大学
5	国	九州大学
6	国	北海道大学
7	国	名古屋大学
8	国	大阪大学
9	国	筑波大学
10	公	国際教養大学★
11	私	国際基督教大学★
12	国	広島大学
13	私	早稲田大学
14	私	慶應義塾大学
15	国	神戸大学
16	国	一橋大学★
17	国	長岡技術科学大学
=18	国	金沢大学
=18	国	東京農工大学
20	私	上智大学
=21	私	立命館アジア太平洋大学★
=21	国	東京外国語大学★
23	国	千葉大学
24	公	会津大学
25	国	お茶の水女子大学
26	国	京都工芸繊維大学
27	国	熊本大学
28	国	岡山大学
=29	国	東京海洋大学
=29	国	東京医科大学
31	国	横浜国立大学
32	国	豊橋技術科学大学
33	私	立命館大学
34	私	豊田工業大学★
35	私	芝浦工業大学
=36	私	神田外国語大学★
=36	公	横浜市立大学
38	国	九州工業大学
39	私	東京理科大学
40	公	福岡女子大学★
41	国	電気通信大学
42	公	東京都立大学
43	国	長崎大学
44	私	津田塾大学★
=45	私	同志社大学
=45	私	関西学院大学
=47	国	秋田大学
=47	私	立教大学
=49	私	学習院大学★
=49	公	大阪市立大学
51	公	神戸市外国語大学★
52	国	信州大学
=53	私	明治大学
=53	国	新潟大学
55	国	帯広畜産大学★
56	国	名古屋工業大学
57	公	大阪府立大学
58	国	福井大学
59	国	鳥取大学
60	私	中央大学
61	国	愛媛大学
=62	私	関西外国語大学★
=62	私	聖路加国際大学★
64	私	東洋大学
=65	私	南山大学★
=65	国	山形大学
=65	国	山口大学
68	私	法政大学
69	国	徳島大学
=70	公	公立はこだて未来大学★
=70	国	宇都宮大学

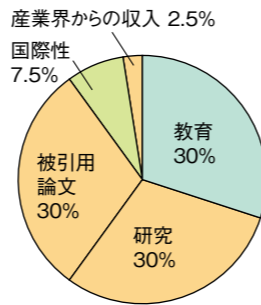
72位以降はP.24～参照のこと

- 国立大学
- 公立大学
- 私立大学

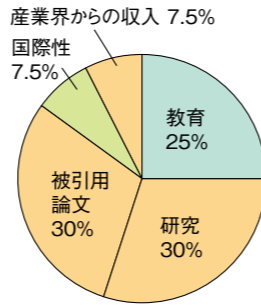
\*[★]は日本版のみにランクインしている大学  
 \*「=」は同順位の大学あり  
 \*同ランクでの掲載順は原則大学名の英語表記のアルファベット順

各ランキングの分野と割合

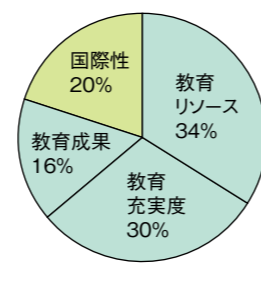
世界版2020



アジア版2019



日本版2020



\*分野内の指標の内訳はランキングにより異なる場合がある

# （教育カブランキングと日本大学ランキング）

Japan University Rankings



教 ↓ 育

大学のパフォーマンス

研究 →



← 社会貢献



Times Higher Education (THE) の世界大学ランキング日本版が2020年3月に発表された。各大学の教育力の特色を、第三者の視点から国内外に示しているこのランキングの結果を学生募集を目的とするブランディングに生かさない手はない。

## Report THE世界大学ランキング日本版2020 結果分析

市場縮小期に不可欠な教育力のエビデンス

4回目の発表を迎えたTHE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）。ランキング校数は前回より65校多い、278校（国立67、公立44、私立167）に。改革に活用する大学は年々増えており、「日本版によって他大学と競える舞台ができた」「ほとんどの高校の進路指導室にランキング表が掲示されているのに本学の名前がないのは問題だ」といった大学関係者の声も聞かれている。

教育力を可視化する日本版は、研究力重視の世界版とは結果の相が異なる。世界版では東京大学（36位タイ）・京都大学（65位）に比べ順位に差のあった東北大学が、日本版では国際性のスコアを伸ばし、初の1位を獲得した。

ランキングやスコアは、各大学の特色を雄弁に語るデータだ。人口減少の折、2020年度入試では私立大学の志願者数が14年ぶりに減少した。さらにコロナ禍により、募集活動は大幅な見直しを迫られている。今こそ教育の質を高め、それを客観的なデータを用いてステークホルダーに適切に伝え、学生募集に生かす必要があるだろう。



【図表3】分野別ランキングTOP20

■ 国立大学 ■ 公立大学 ■ 私立大学 \*「=」: 同順位の大学あり  
\*「-」: 順位が151位以下のためスコア非表示  
\* 同順位の場合は、アルファベット順に掲載

教育リソース

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	国	東京大学	86.5	87.0
2	2	国	東京医科歯科大学	84.2	84.9
3	4	国	東北大学	84.1	82.5
4	3	国	京都大学	83.4	84.4
5	NR	公	京都府立医科大学	82.8	-
6	NR	私	兵庫医科大学	81.2	-
7	5	国	浜松医科大学	80.6	81.9
8	10	国	東京工業大学	80.1	77.5
9	NR	国	滋賀医科大学	78.6	-
10	6	公	札幌医科大学	78.5	79.0
11	=8	国	名古屋大学	78.2	77.6
12	7	国	大阪大学	78.0	78.8
13	=8	公	奈良県立医科大学	77.3	77.6
14	16	私	豊田工業大学	76.8	72.6
15	NR	公	福島県立医科大学	76.5	-
16	11	国	九州大学	76.4	76.9
=17	13	私	愛知医科大学	75.7	76.0
=17	12	私	日本医科大学	75.7	76.2
19	NR	私	大阪医科大学	75.5	-
20	=14	国	筑波大学	74.1	74.3

教育成果

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	国	京都大学	98.4	98.4
2	4	国	大阪大学	97.9	96.6
3	3	国	九州大学	97.4	96.9
4	7	国	東北大学	96.6	95.6
5	6	国	名古屋大学	96.1	95.7
6	11	国	筑波大学	94.4	90.4
=7	2	国	東京大学	94.1	97.3
=7	8	国	北海道大学	94.1	93.7
9	5	私	慶應義塾大学	93.7	95.9
10	9	私	早稲田大学	93.0	93.6
11	10	国	東京工業大学	92.8	93.5
12	13	国	神戸大学	83.4	80.0
13	14	国	広島大学	78.4	74.0
14	12	国	一橋大学	76.6	81.4
15	15	国	横浜国立大学	72.6	73.6
16	16	国	千葉大学	72.0	72.9
17	17	公	国際教養大学	71.0	72.0
18	19	私	東京理科大学	69.5	71.6
19	18	私	東京農工大学	69.4	71.8
20	25	私	立命館大学	68.5	65.8

\*データ提供: Times Higher Education (THE)

「国際性」は、世界版の「国際性」とも共通性のある分野だが、日本版は「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」という独自の項目が採用されている点が特徴だ。

大学のさまざまな特色を把握できることから、THEは総合ランキングだけでなく、分野別ランキングの検証を強く推奨している。

教育充実度

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	公	国際教養大学	93.0	92.4
2	2	私	国際基督教大学	90.5	90.4
3	3	国	筑波大学	84.9	84.5
4	=5	私	立命館アジア太平洋大学	84.3	82.8
5	7	国	北海道大学	83.4	81.7
6	4	私	上智大学	82.8	83.5
7	=5	私	神田外語大学	82.6	82.8
8	10	国	東京外国語大学	81.5	80.1
9	=25	国	東京工業大学	80.8	76.7
10	8	国	東北大学	80.6	80.9
11	9	国	名古屋大学	80.5	80.3
12	23	国	九州大学	79.9	77.2
13	=11	国	東京大学	79.8	79.9
14	14	私	東洋大学	79.5	79.1
=15	13	私	立教大学	79.4	79.6
=15	=20	私	津田塾大学	79.4	77.5
17	=11	私	早稲田大学	79.3	79.9
18	17	国	広島大学	79.0	78.2
19	NR	私	金沢工業大学	78.9	-
20	18	私	立命館大学	78.8	77.9

国際性

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	公	国際教養大学	100.0	100.0
2	3	私	立命館アジア太平洋大学	99.0	94.0
3	2	私	国際基督教大学	97.6	95.4
4	4	私	大阪女学院大学	89.4	86.5
5	15	私	梅光学院大学	86.8	79.3
6	16	私	創価大学	85.4	79.0
7	=6	公	神戸市外国語大学	84.9	85.0
8	13	公	福岡女子大学	83.8	80.3
9	9	私	名古屋外国語大学	83.7	82.7
10	18	私	関西外国語大学	83.2	77.6
11	10	私	長崎外国語大学	82.5	82.5
12	14	国	東京外国語大学	81.9	80.2
13	8	私	上智大学	81.3	83.0
=14	12	私	京都外国語大学	81.1	81.0
=14	5	私	東京国際大学	81.1	85.9
16	17	私	名古屋商科大学	80.6	78.0
17	=6	私	麗澤大学	79.3	85.0
18	19	私	神田外語大学	76.8	76.6
=19	11	私	宮崎国際大学	74.6	82.2
=19	=25	私	早稲田大学	74.6	72.4

日本のランキング指標は4つの分野から成り立っている。

「教育リソース」は、学生一人あたりの資金や教員比率などから、どれだけ充実した教育が行われている可能性があるかを見ている。あらゆる教育活動のベースであることから、4分野のうち最も大きな割合を占めている。

「教育充実度」は、先に紹介した学生調査と、高校の進路指導教員への評判調査から、学生が在学中に得る経験の質を検証する。「教育リソース」に次ぐ割合を占める分野だ。

「教育成果」は、企業人事が卒業生の活躍度合いを基準に、また研究者が教育の質の高さを基準に選んだ大学が高いスコアを得られるしくみだ。

大学の個性が現れる  
分野別ランキングに注目

**THE世界大学ランキング日本版2020**

**指標解説と分野別ランキング**

2020年版は、2019年版の指標が継続して使用されている。指標の内容を再確認したうえで、分野別ランキングを概観する。

**指標は前回と変わらず**  
**スコアの経年比較が可能**

国内外のステークホルダーに対して各大学の価値をより明瞭に発信するために、THEはランキング指標とその割合（比重）を随時見直している。今回は変更がなく【図表2】、前回のスコアとの比較がしやすいものになっている。

ポータルサイトで必要なデータを入力するエントリーの形式、エントリーの除外条件も前回同様だ。可視化された教育力を大学改革に生かすためには、エントリーを継続し、経年比較を行いたい。

指標項目の中で特に注目したいのは、前回からデータソースとして採用されている学生調査だ。「教員と交流する機会がどの程度あるか」「クリティカル・シンキングを身に付ける機会があるか」などの質問への回答がスコアに算入されている。今回は前年の3万6881件を大きく上回る4万5017件の回答が寄せられ、有効回答数50に達した大学は278校に上った。前回と合わせた2年分のデータが使用されている。

なおTHEのランキングは数多い大学ランキングの中で唯一、外部法人による監査を受けており、日本版もほかと同様、データの収集・集計プロセスを\*1 PWCが監査している。情報収集等においては日本の教育事情をよく知るベネッセグループが支援している。

【図表2】日本版2020の指標

分野	Pillars	項目	Metrics	割合	対象年	データ元	備考
教育リソース Resources		学生一人あたりの資金	学生一人あたりの資金	8%	2018年度	大学入力情報	経常収入 / 在籍学生数
			学生一人あたりの教員比率	8%		大学入力情報	教員数 / 在籍学生数
			教員一人あたりの論文数	7%		エルゼビア社	論文数 / 教員数 ※ScopusよりTHEが抽出
			大学合格者の学力	6%		ベネッセ	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
			教員一人あたりの競争的資金獲得数	5%		2018年度	大学入力情報
教育充実度 Engagement	学生調査	教員・学生の交流、協働学習の機会	教員・学生の交流、協働学習の機会	6%	2018-19年	ベネッセ	調査対象：日本の大学生・大学院生（留学生含む） 有効回答到達校数：278校 総回答数：45017件 ※2018年（回答数：36881件）、2019年の結果の2か年分を使用
			授業・指導の充実度	6%	2018-19年	ベネッセ	
			大学の推奨度	6%	2018-19年	ベネッセ	
			グローバル人材育成の重視	6%	2018-19年	ベネッセ	調査対象：日本の高校の進路指導教員 調査書発送校数*2：5291校 回答校数：2181校（特定の地域に有利・不利が出ない集計） ※2018年（回答校数：2019校）、2019年の結果の2か年分を使用
教育成果 Outcomes	研究者の評判調査	企業人事の評判調査	企業人事の評判調査	8%	2018-19年	日経HR	調査対象：全上場企業と有力未上場企業4779社 回答数：815社（2019）、929社（2018）の2か年分を使用 調査項目：過去2年間の新卒採用実績上位10大学の学生のイメージを12項目、各6段階で聞いている
			研究者の評判調査	8%	2018-19年	THE世界大学 ランキング	研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
国際性 Environment		外国人学生比率	外国人学生比率	5%	2018年度	大学入力情報	在籍外国人学生数 / 在籍学生数
			外国人教員比率	5%	2018年度	大学入力情報	在籍外国人教員数 / 教員数
			日本人学生の留学比率	5%	2018年度	大学入力情報	日本人学生の留学者数 / 在籍学生数
			外国語で行われている講座の比率	5%	2018年度	大学入力情報	外国語で行われている講座数 / 全講座数

\*1 PricewaterhouseCoopers. 世界の4大会計事務所の1つ  
\*2 複数の科やコースを設置している高校には、調査票を複数枚送付した場合もある



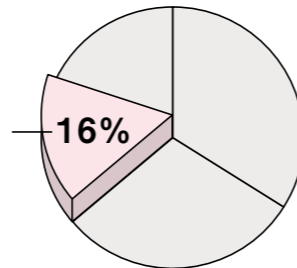
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	京都大学	98.4	1	国際教養大学	71.0	1	慶應義塾大学	93.7
2	大阪大学	97.9	2	大阪府立大学	67.6	2	早稲田大学	93.0
3	九州大学	97.4	3	大阪市立大学	65.6	3	東京理科大学	69.5
4	東北大学	96.6	4	東京都立大学	64.0	4	立命館大学	68.5
5	名古屋大学	96.1	5	神戸市外国語大学	55.6	5	上智大学	66.3
6	筑波大学	94.4	6	兵庫県立大学	54.6	=6	同志社大学	63.7
=7	北海道大学	94.1	7	北九州市立大学	53.0	=6	明治大学	63.7
=7	東京大学	94.1	8	秋田県立大学	52.6	8	金沢工業大学	63.1
9	東京工業大学	92.8	9	高知工科大学	48.6	9	学習院大学	62.6
10	神戸大学	83.4	10	公立はこだて未来大学	47.3	10	芝浦工業大学	61.6

\*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

教育成果  
Outcomes

- ▶ 企業人事の評判調査：8%
- ▶ 研究者の評判調査：8%



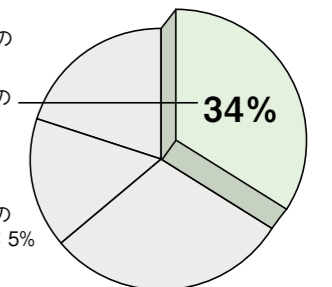
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	86.5	1	京都府立医科大学	82.8	1	兵庫医科大学	81.2
2	東京医科歯科大学	84.2	2	札幌医科大学	78.5	2	豊田工業大学	76.8
3	東北大学	84.1	3	奈良県立医科大学	77.3	=3	愛知医科大学	75.7
4	京都大学	83.4	4	福島県立医科大学	76.5	=3	日本医科大学	75.7
5	浜松医科大学	80.6	5	横浜市立大学	69.8	5	大阪医科大学	75.5
6	東京工業大学	80.1	6	名古屋市立大学	68.8	6	東京慈恵会医科大学	73.4
7	滋賀医科大学	78.6	7	大阪市立大学	65.8	7	聖マリアンナ医科大学	72.1
8	名古屋大学	78.2	8	会津大学	63.9	8	関西医科大学	71.7
9	大阪大学	78.0	9	大阪府立大学	61.6	9	産業医科大学	69.6
10	九州大学	76.4	10	富山県立大学	59.8	10	順天堂大学	66.5

\*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

教育リソース  
Resources

- ▶ 学生一人あたりの資金：8%
- ▶ 学生一人あたりの教員比率：8%
- ▶ 教員一人あたりの論文数：7%
- ▶ 大学合格者の学力：6%
- ▶ 教員一人あたりの競争的資金獲得数：5%



前回は変動が小さい分野だったが、ソースに変更がないにもかかわらず順位に動きが見られる。教育や研究改革の成果が顕著に現れた大学が増えた、あるいは研究者や企業の教育に対する価値観が変化したことなどが可能性として考えられる。

設置区分別で前回は11位以下だった大学で今回TOP 10入りした大学は、高知工科大学（前回公立15位）、学習院大学（前回私立16位）、芝浦工業大学（前回私立14位）など。

私立9位になった学習院大学（学長室）は、「新規応募件数が50件以上の機関における科研費の新規採択率が2016年度に私立大学1位となり、以来、上位をキープしている。教育力を支える実績として研究者に評価されたのではない」と語る。

またTOP 10圏外では、愛媛大学（前回国立37位、今回26位）、徳島大学（前回国立43位、今回32位）、豊田工業大学（前回私立45位、今回14位）などが大幅ランクアップ。地方大学の健闘は、産学官連携の進展が企業に認められつつあるからかもしれない。

積極的な人材育成策が  
ランキングを動かす

優れたST比は日本の大学が持つ強み

教育に活用できる豊富な資金力を持つ大学、教員の研究力や合格者の学力が高く教育環境に優れた大学が上位にランクインしている。今回初めてランキング入りした京都府立医科大学をはじめ、設置区分別TOP 10に入った大学のほとんどは、医療系の学部を擁する大学だ。THEのダンカン氏（P. 8参照）は、驚きを交えつつ、それが日本の特徴的な傾向だと指摘している。一方医療系の学部がないながら例年、設置区分別TOP 10にランクインしている東京工業大学、会津大学、豊田工業大学は、リソースの確保のしかたに特徴があるとさえそうだ。

ダンカン氏が指摘するもう一つの日本の大学の特徴が、「学生一人あたりの教員比率」の高さだ。特に医療系私立大学の強みとなっており、日本医科大学（ST比0.7人）、聖マリアンナ医科大学（0.9人）など教員の方が多い大学もある。

資金力や研究力を高める長期的な視点と、現状のリソースで最大限のパフォーマンスを実現する短期的な視点の両方をもって、教育環境の整備に取り組みたい。

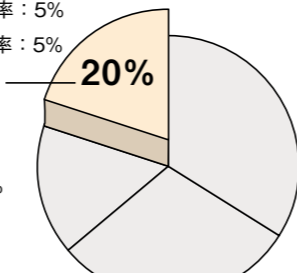
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京外国語大学	81.9	1	国際教養大学	100.0	1	立命館アジア太平洋大学	99.0
2	東京工業大学	74.5	2	神戸市外国語大学	84.9	2	国際基督教大学	97.6
3	東北大学	73.9	3	福岡女子大学	83.8	3	大阪女学院大学	89.4
4	北海道大学	72.3	4	会津大学	74.0	4	梅光学院大学	86.8
5	長岡技術科学大学	72.1	5	新潟県立大学	66.7	5	創価大学	85.4
=6	一橋大学	70.9	6	愛知県立大学	64.0	6	名古屋外国語大学	83.7
=6	九州大学	70.9	7	群馬県立女子大学	57.5	7	関西外国語大学	83.2
8	豊橋技術科学大学	70.6	8	北九州市立大学	55.7	8	長崎外国語大学	82.5
9	京都大学	69.1	9	宮崎公立大学	52.1	9	上智大学	81.3
10	広島大学	68.9	10	都留文科大学	48.0	=10	京都外国語大学	81.1
						=10	東京国際大学	81.1

\*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

国際性  
Environment

- ▶ 外国人学生比率：5%
- ▶ 外国人教員比率：5%
- ▶ 日本人学生の留学比率：5%
- ▶ 外国語で行われている講義の比率：5%



取り組みの成果が比較的現れやすく、競争が激しい分野だ。特に私立大学にはこの分野を強みとする大学が多い。その中で、梅光学院大学（前回私立11位）、創価大学（前回私立12位）、関西外国語大学（前回私立14位）が設置区分別11位以降からTOP 10入りしている。TOP 10には入らなかったが、芝浦工業大学（前回私立37位、今回25位）、津田塾大学（前回私立41位、今回31位）などの上昇幅が大きかった。

国立大学では、東北大学が前回国立13位から3位にランクアップ。近年は、年間400人を海外に派遣するグローバルリーダー育成プログラムの実施や国際寮の拡充などに力を入れている。この分野のスコアアップが初の総合ランキング1位を獲得した原動力になったと言えるだろう。

2020年は「新型コロナ禍」により、学生や教員の国際流動性を飛躍的に向上させることは、残念ながら難しい状況にある。外国語で行う授業の比率を高める、海外と結ぶオンライン講座を充実させるなど、「国内でできる国際化」に力を入れるチャンスとも言える。

今だからこそ進めたい  
人的交流以外の国際化

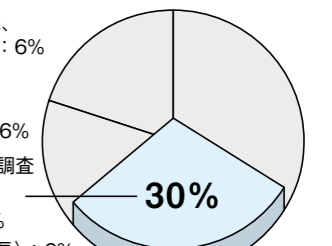
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	筑波大学	84.9	1	国際教養大学	93.0	1	国際基督教大学	90.5
2	北海道大学	83.4	2	会津大学	76.8	2	立命館アジア太平洋大学	84.3
3	東京外国語大学	81.5	3	公立はこだて未来大学	73.0	3	上智大学	82.8
4	東京工業大学	80.8	4	都留文科大学	72.4	4	神田外語大学	82.6
5	東北大学	80.6	5	福岡女子大学	71.9	5	東洋大学	79.5
6	名古屋大学	80.5	6	高知工科大学	71.4	=6	立教大学	79.4
7	九州大学	79.9	7	北九州市立大学	71.1	=6	津田塾大学	79.4
8	東京大学	79.8	8	横浜市立大学	69.9	8	早稲田大学	79.3
9	広島大学	79.0	9	東京都立大学	69.8	9	金沢工業大学	78.9
10	京都大学	78.7	10	神戸市外国語大学	68.3	10	立命館大学	78.8

\*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

教育充実度  
Engagement

- ▶ 学生調査（教員・学生の交流、協働学習の機会）：6%
- ▶ 授業・指導の充実度：6%
- ▶ 大学の推奨度：6%
- ▶ 高校教員の評判調査（グローバル人材育成の重視）：6%
- ▶ 入学後の能力伸長：6%



学生の教育充実感は高校教員の評判に影響大

高校教員の評判調査に加え、前回から学生調査をソースとする3項目が追加されている。昨今は卒業後も出身校の高校教員とコミュニケーションをとる学生が多い傾向にあることから、学生が感じる教育充実度はそのまま高校教員の評判につながりやすい。

国立大学は筑波大学が2年連続で国立1位、東京外国語大学が国立5位から3位に順位を上げている。また東京工業大学は国立12位から4位に浮上。博士後期課程まで続く21世紀型のリベラルアーツ教育など、近年の教育改革の成果とさえそう。

設置区分別TOP 10には入っていないが順位を上げた大学としては、秋田大学（前回国立36位、今回32位）、東北学院大学（前回私立49位、今回46位）などがある。東北学院大学（学長室）は、「学生アンケート結果を単に公表するだけでなく、学修意欲喚起に繋がるコメントをつけたり、学生や高校教員から意見を聞く懇話会を設けたりしていることが、授業・指導の充実度や大学の推奨度を高めているのかもしれない」と述べている。



世界の視点

3つの観点で測る  
大学のパフォーマンス

高等教育が国際競争の時代を迎えた今、自学の針路を見定めるうえで、海外からの視点は不可欠だ。世界の高等教育を知るTHEのスタッフが、ランキングの活用方法について語る。

Times Higher Education  
チーフ・データ・オフィサー  
ダンカン・ロス



Duncan Ross

自学の教育力を知り、  
世界に伝える「日本版」

大学が自学のポジションを理解し、また生徒・学生が自分にふさわしい大学を見つけるために、THEは世界中の大学のパフォーマンスを測定しています。その主な観点は3つ。世界大学ランキング（以下、世界版）に代表される「研究力」を重視したもの、「大学インパクトランキング」など、社会貢献」を重視したもの、そして日本版など、国・地域別に展開している「教育力」を重視したものです。

日本の高等教育はいずれの観点でも強みを持っていますが、大学が持つ強みはそれぞれ異なっています。

「教育」「研究」「社会貢献」  
どの分野でどのような特色があるか？  
それにより変わる改革の方向性

ます。各大学のパフォーマンスを知るためには、これら3つの観点を組み合わせて見る必要があります。

さて、大学の教育力とは、一言で言うと、その大学が「学生たちのゴール達成を支援する」という役割をどの程度果たしているか、です。日本版では、日本のみならず、世界に向けても日本の大学の教育パフォーマンスをより深く理解できるように、指標を作成しています。これまで幾度か改善を重ね、前回の2019年版からは、測定方法の一つに学生調査を導入しました。同じく教育力に焦点を当てたアメリカ版とヨーロッパ版でも同様の調査を行っており、それらとの比較によって、日本の教

育の特質を知ることができます。もちろん、よりよいランキングにするためのご意見は常に受け付けています。\*メールアドレスやTwitterアカウントに皆さんの声をぜひお寄せください。

ランキングやスコアは  
分析してこそ意味を持つ

ランキングやスコアは、結果を見て一喜一憂するものではありません。その意味や傾向を分析して、貴学のパフォーマンス向上に役立ててこそ、意味があります。一例として、私たちは今回の日本版の「国際性」分野の結果を用いて、旧帝大と「国際」と名が付く大学群を比較してみました。旧

帝大が優れていたのは、外国人学生比率の高さでした。「国際」大学群も同じく高いものの、旧帝大には及びません。一方、日本人学生の留学比率は、「国際」大学群が旧帝大を上回っています。どちらの大学群も「国際性」に秀でています。その中には大学群の特色が表れています。当然、改革の方向性や広報施策も変わってくることでしょう。

なお、研究パフォーマンスを見る世界版のデータを分析すると、日本の大学の博士号取得者や論文の被引用回数は増加傾向にあることがわかります。また、SDGsへの取り組みを測定する大学インパクトランキングにおいては、日本の参加校は72校と他国と比べ突出して多く、社会貢献に対する意識の高さがうかがえます。われわれは、日本の高等教育に携わる皆さんが、この世界的な感染症拡大で大変な時期を乗り越え、今後も優れた教育を世界に向けて提供し続けられることを確信しています。

「ランキングマネジメントサイクル」  
を導入した大学改革で  
自学のミッション達成を



Elizabeth Shepherd

Times Higher Education  
コンサルティング・サービス担当  
マネージングディレクター

エリザベス・  
シェパード

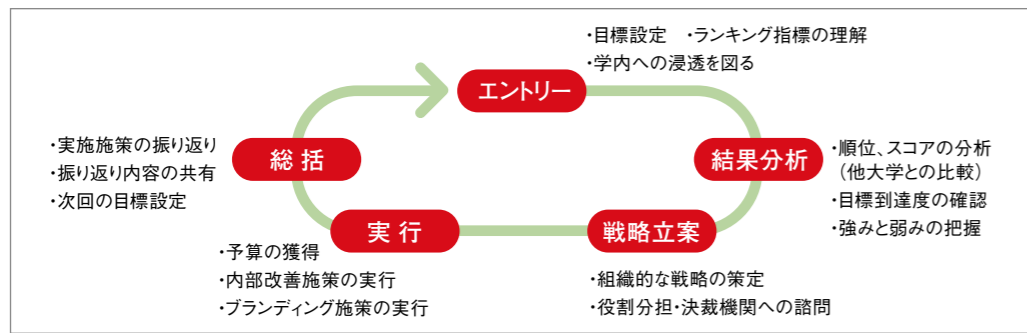
データを活用して探る  
自学の強みの生かし方

世界大学ランキングが高等教育に与えた影響の一つに、客観的な測定結果を活用して大学改革を推進する、パフォーマンス重視の改革文化を根付かせた点があります。

改革を効果的に行うため、ランキングを活用する方法が【図表1】に挙げた「ランキングマネジメントサイクル」です。「エントリー」とともに目標を設定し学内共有を図る「結果分析」により自学の強み、弱み、注力すべき分野を見いだす「具体的な「戦略立案」を策定」「実行」「総括」をし、次の目標を設定し「エントリー」……というサイクルを繰り返します。

このランキングマネジメントサイクルを実行して、世界でのポジションを上げた大学を2例紹介しましょう【図表2】。シンガポールの南洋理工大学は、2011年

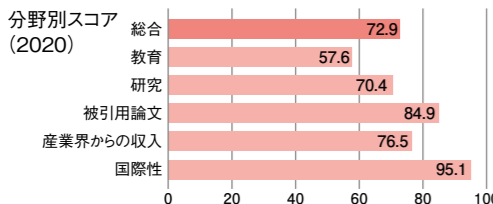
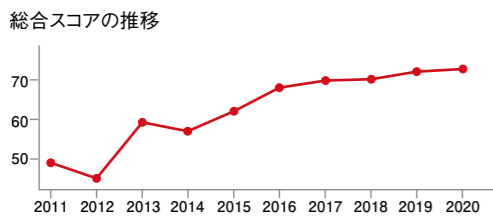
【図表1】ランキングマネジメントサイクル



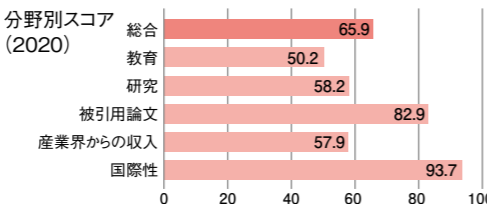
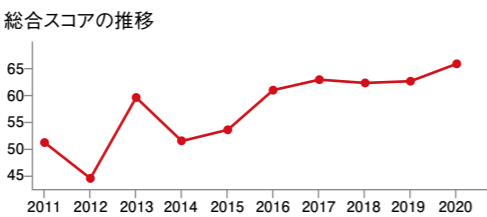
【図表2】ランキングマネジメントサイクル活用例

\*データ提供: Times Higher Education (THE)

南洋理工大学 (シンガポール)



ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)



の174位から、2020年は48位タイに。スコアを分析すると、「研究」の評判調査のスコアが大きく伸びています。2例目、オーストラリア・シドニーのニューサウスウェールズ大学は、2019年の96位タイから2020年に71位に躍進。「教育」と「研究」両方の評判調査スコアが伸びた結果です。

2大学は自学のどの分野を、世界のどの地域にアピールすべきか、過去のデータを基に緻密な戦略を立て、ブランディングキャンペーンを実行しました。その結果、例えばニューサウスウェールズ大学では、中国の「工学およびテクノロジー」分野、アジアの「臨床・前臨床および健康」分野からの評判が高まりました。漠然と「世界に発信」するのではなく、自学が持つ複数の強みを把握したうえで、各地域のニーズに沿って適切な強みを訴えたことにより、極めて効率的な広報を展開することができたのです。

どの大学も独自の強みを持っています。重要なのは、限られた資源の中でその強みを最大限に生かす、効率化の視点を持つことです。貴学のミッションを達成するために、包括的なデータ分析を軸としたランキングマネジメントサイクルを、ぜひ取り入れてください。

\*THEへの提案、質問(英語)は→ profilerankings@timeshighereducation.com  
ダンカン氏のTwitterアカウントは→ @duncan3ross





## THE大学インパクトランキング2020指標

目標	指標	項目例
① 貧困	貧困のために財政的援助を受けている学生の割合	▶貧困のために経済的援助を受けている学生数など
	貧困対策プログラム	▶低所得層(国内下位20%)出身の学生の受け入れに関する数値目標の有無など
	自学のコミュニティのための貧困対策プログラム	▶地元コミュニティにおける、持続可能なビジネスのスタートアップ企業支援の有無など
② 飢餓	キャンパスにおける食品廃棄	▶食品廃棄総量、キャンパスの総人口
	学生の飢餓	▶キャンパスにおいて健康的で手頃な食品を提供しているかなど
③ 保健	サステナビリティの側面を含む農業に従事する卒業生の割合	▶卒業生数、食料の持続可能性に関する内容を含む農業課程の卒業生数
	国レベルにおける飢餓	▶地元の農家や食料生産者に対する、持続可能な農業の知識/能力/技術の提供実績など
④ 教育	医療関連職で活躍する卒業生	▶卒業生数、医療関連職で活躍する卒業生数など
	健康問題分野でのインパクト	▶地球規模または地元の健康管理機関との、健康・福祉関連の協力関係の有無など
⑤ ジェンダー	初等教育教員資格を取得した卒業生数	▶卒業生数、初等教育教員資格を取得した卒業生数など
	生涯教育機会の提供	▶企業・政府・自治体向けエグゼクティブ教育プログラムや職業訓練開催実績など
	First generation student(親族の中で初めて高等教育を受ける学生)の割合	▶学士課程に入学した学生数、学士課程に入学したFirst generation studentの数
⑥ 水・衛生	女子のFirst generation student(親族の中で初めて高等教育を受ける学生)の割合	▶学士課程に入学した女子学生数、学士課程に入学した女子のFirst generation studentの数
	アクセシビリティ	▶女子・女性の大学への出願・入学・合格・参加を促す施策の有無など
	上級職アカデミックスタッフに占める女性の割合	▶女性のFTE(フルタイム当量)アカデミックスタッフの中で上級職に就いている者の数など
⑦ エネルギー	入学者の女子の割合	▶学士課程を卒業した女子学生数(STEM、医学、人文社会科学の領域ごと)
	向上政策	▶女性・トランスジェンダーの人たちに対する無差別施策の有無など
	一人当たりの水消費量	▶学内の水消費量(総量、処理/抽出された水、雨水、再利用/再生処理水)など
⑧ 成長・雇用	水の使用と配慮	▶排水を処理するプロセスの有無、汚染水の流入を防ぐプロセスの有無など
	水の再利用	▶使用された水の総量、再利用/再生処理された水の使用量
	コミュニティにおける水	▶キャンパス外の水の保全を支援する取り組みの有無など
⑨ イノベーション	自学による対策措置	▶二酸化炭素排出量管理と同排出削減のプロセスの有無など
	エネルギー消費密度	▶大学の建物の床面積と、個人、イベント、組織、物品で使用されるエネルギーの消費量
	エネルギーとコミュニティ	▶地元に対する、エネルギー効率とクリーンエネルギーの重要性を学ぶプログラムの提供実績など
⑩ 不平等	雇用慣行	▶資金水準の男女平等性を測定・追跡しているかなど
	対内投資/経済的影響	▶総支出、被雇用者数、アカデミックスタッフ数
	ワークプレイズメント(インターンシップや実習等の就業体験を行う取り組み)	▶学生数、開講科目の一部としての1か月以上のワークプレイズメント経験がある学生数
⑪ 都市	雇用保障	▶被雇用者数、2年以上の雇用契約がある被雇用者数
	スピノフ企業	▶自学発祥の知的財産を利用するために設立した登記企業の数
	産業界からの収入	▶学問領域ごとのアカデミックスタッフ数、学問領域ごとの研究費収入
⑫ 生産・消費	First generation student(親族の中で初めて高等教育を受ける学生)	▶学士課程に入学した学生数、学士課程に入学したFirst generation studentの数
	援助を受けている低所得国出身の外国人学生の割合	▶学部生数、発展途上国出身の外国人学部生数
	障害を持つ学生の割合	▶学生数、障害を持つ学生数
⑬ 気候変動	障害を持つ被雇用者の割合	▶被雇用者数、障害を持つ被雇用者の数
	差別への対策	▶差別のない入学政策、または適切な積極的差別による入学政策の公開状況など
	芸術と遺産	▶図書館の一般公開状況、学内のオープンスペースや緑地の一般公開状況など
⑭ 海洋資源	地元の文化・自然遺産に対する支出	▶総支出、地元の文化・自然遺産に対する支出
	持続可能な実践行動	▶学内における歩行者優先権の有無、持続可能基準にのっとった建築実績の有無など
	運営	▶プラスチック利用最小化政策の有無、使い捨て物品利用最小化政策の有無など
⑮ 陸上資源	リサイクルされた廃棄物の割合	▶排出している廃棄物量、リサイクルしている廃棄物量、埋め立てに回された廃棄物量
	サステナビリティレポートの発行	▶サステナビリティレポートの発行頻度
	低炭素エネルギー消費量	▶総エネルギー消費量、低炭素エネルギー源のエネルギー消費量
⑯ 平和	災害対策を含む環境教育	▶気候行動計画を作成し、地元の自治体やコミュニティ団体と共有する取り組みの有無など
	カーボンニュートラルな大学としての誓約	▶既に〇〇年に達成(達成年を提供)、〇〇年までに達成予定(目標年を提供)
	教育を通して水界生態系を支える	▶地域または国レベルのコミュニティに対する、淡水生態系に関する教育プログラムの提供実績など
⑰ 実施手段	水界生態系を支える実践行動	▶生態系と生物多様性を維持および拡張するための取り組み実績など
	水を意識した廃棄物処理	▶排水に関する水質基準とガイドラインの有無など
	地元の生態系の維持	▶自学が関わる水界生態系の生物学的変化を最小限に抑える計画の有無など
⑱ 陸上資源	教育を通して陸上生態系を支える	▶土地の保全と持続可能な利用の促進を目的としたイベントの支援/開催実績など
	陸上生態系を支える実践行動	▶自学が関わる陸上生態系の保全、修復、持続可能な利用を確実にするための政策の有無など
	土壌を意識した廃棄物処理	▶キャンパスのプラスチック廃棄物を削減するための行動計画の有無など
⑳ 平和	ガバナンス	▶地元のステークホルダーが参加する団体の有無、財務データをオープンデータとして公表しているかなど
	地元・地域自治体、国家政府(その他)との連携	▶政府各省庁との協力による、政策に焦点を当てた研究の請け負い実績など
	法学および公的サービスの提供	▶卒業生数、法学および公的サービスに関する課程の卒業生数
㉑ 実施手段	NGO、国家・地方政府との連携	▶政府のSDGs政策策定に対する直接関与もしくはアドバイザー提供の実績など
	サステナビリティレポート	▶SDGsの各指標に関するサステナビリティレポートの公開状況など
	SDGsのための教育	▶SDGsに関する教育の提供状況(提供している範囲、エビデンスなど)

### 総合ランキングTOP10

2020 順位	2019 順位	教育機関	国/地域	スコア
1	1	オークランド大学	ニュージーランド	98.5
2	25	シドニー大学	オーストラリア	98.1
3	11	西シドニー大学	オーストラリア	97.9
4	NR	ラトローブ大学	オーストラリア	96.6
5	=35	アリゾナ州立大学	アメリカ	96.3
6	9	ボローニャ大学	イタリア	96.1
7	=3	プリティッシュコロンビア大学	カナダ	95.9
8	=3	マンチェスター大学	イギリス	95.6
9	5	キングス・カレッジ・ロンドン	イギリス	95.4
10	82	ロイヤルメルボルン工科大学	オーストラリア	94.9

### 日本の総合ランキング

2020 順位	2019 順位	教育機関	スコア
76	101-200	北海道大学	85.3
=77	52	東京大学	85.1
97	NR	東北大学	83.7
101-200	201-300	広島大学	75.4-83.3
	48	京都大学	75.4-83.3
	NR	立命館大学	75.4-83.3
	NR	筑波大学	75.4-83.3
	NR	早稲田大学	75.4-83.3
201-300	NR	名古屋大学	68.2-75.3
	101-200	名古屋市立大学	68.2-75.3
	301+	岡山大学	68.2-75.3
	NR	信州大学	68.2-75.3
	101-200	山口大学	68.2-75.3
301-400	101-200	千葉大学	61.5-68.0
	101-200	金沢大学	61.5-68.0
	91	慶應義塾大学	61.5-68.0
	301+	東海大学	61.5-68.0
	201-300	東京理科大学	61.5-68.0
	NR	横浜国立大学	61.5-68.0
401-600	301+	中央大学	46.7-61.4
	201-300	香川大学	46.7-61.4
	NR	北九州市立大学	46.7-61.4
	301+	関西学院大学	46.7-61.4
	201-300	三重大	46.7-61.4
	NR	新潟大学	46.7-61.4
	101-200	大阪大学	46.7-61.4
	201-300	大阪市立大学	46.7-61.4
	NR	琉球大学	46.7-61.4
	301+	成蹊大学	46.7-61.4
	NR	島根大学	46.7-61.4
	101-200	創価大学	46.7-61.4
	NR	上智大学	46.7-61.4
	NR	徳島大学	46.7-61.4
	301+	東京都市大学	46.7-61.4
	301+	鳥取大学	46.7-61.4
	NR	東洋大学	46.7-61.4
	101-200	宇都宮大学	46.7-61.4
	101-200	横濱市立大学	46.7-61.4

\*データ提供: Times Higher Education (THE)  
 \*★は2020年版で新規追加された目標  
 \*同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \*「=」: 同順位の大学あり  
 \*「NR」: 前年エントリーしていない、エントリーしたがランキングがなかった大学  
 \*公式サイトでは全ランキング掲載

### SDG1 貧困★

順位	教育機関
=43	立命館大学
56	早稲田大学
=60	京都大学
=93	山口大学
101-200	慶應義塾大学
	東京大学
	東京理科大学

### SDG2 飢餓★

順位	教育機関
10	北海道大学
26	鳥取大学
=32	信州大学
38	京都大学
39	信州大学
52	山口大学
56	千葉大学
=69	名古屋大学
76	宇都宮大学
88	立命館大学
93	東海大学
101-200	香川大学
	神奈川大学
	早稲田大学

### SDG3 保健

順位	教育機関
16	名古屋市立大学
37	藤田医科大学
72	徳島大学
=98	広島大学
101-200	北海道大学
	順天堂大学
	岡山大学
	東北大学
	鳥取大学
	筑波大学
	横濱市立大学

### SDG4 教育

順位	教育機関
201-300	広島大学
	恵泉女学園大学
	三重大
	立命館大学
	琉球大学
	大阪市立大学
	信州大学
	徳島大学
	東京理科大学
	早稲田大学
	山口大学
	横浜国立大学

### SDG5 ジェンダー

順位	教育機関
101-200	恵泉女学園大学

### SDG6 水・衛生★

順位	教育機関
20	広島大学
69	横浜国立大学
81	早稲田大学
101-200	香川大学
	神奈川大学
	北九州市立大学
	京都大学
	名古屋大学
	大阪大学
	立命館大学
	東京大学
	東京理科大学
	横浜国立大学

### SDG7 エネルギー★

順位	教育機関
101-200	京都大学
	立命館大学
	早稲田大学
	東京大学
	東京理科大学
	早稲田大学

### SDG8 成長・雇用

順位	教育機関
93	東北大学
101-200	京大
	立命館大学
	早稲田大学
	名古屋市立大学
	大阪大学
	立命館大学
	東京大学
	東京理科大学
	筑波大学
	早稲田大学

### SDG9 イノベーション

順位	教育機関
=1	東京大学
9	東北大学
20	筑波大学
45	北海道大学
=46	京都大学
=48	名古屋大学
52	広島大学
=61	慶應義塾大学
101-200	九州工業大学
	三重大
	名古屋市立大学
	大阪大学
	大阪市立大学
	信州大学
	徳島大学
	東京理科大学
	早稲田大学
	山口大学
	横浜国立大学

### SDG10 不平等

順位	教育機関
101-200	京都大学
	筑波大学

### SDG11 都市

順位	教育機関
65	広島大学
83	岡山大学
88	早稲田大学
101-200	北海道大学
	早稲田大学
	京都大学
	名古屋大学
	立命館大学
	大阪大学
	立命館大学
	東京大学
	東京理科大学
	横浜国立大学

### SDG12 生産・消費

順位	教育機関
48	早稲田大学
52	東北大学
60	広島大学
=63	信州大学
77	北海道大学
80	山口大学
91	千葉大学
92	大阪大学
101-200	香川大学
	金沢大学
	京都大学
	鳥根大学
	信州大学
	成蹊大学
	東北学院大学
	東海大学
	東京都市大学
	東京理科大学
	筑波大学
	山口大学
	横濱市立大学

### SDG13 気候変動

順位	教育機関
64	東北大学
85	東北学院大学
101-200	北海道大学
	熊本大学
	名古屋大学
	立命館大学
	立命館大学
	東京都市大学
	筑波大学
	早稲田大学
	早稲田大学
	山口大学

### SDG14 海洋資源

順位	教育機関
37	早稲田大学
=43	北海道大学
=43	立命館大学
=59	東海大学
=59	東京農業大学
77	東京大学
=85	琉球大学
=96	横浜国立大学
=99	千葉大学
101-200	千葉工業大学
	香川大学
	神奈川大学
	金沢大学
	慶應義塾大学
	三重大
	名古屋大学
	名古屋市立大学
	東海大学
	東京農業大学
	東京都市大学
	東京理科大学
	宇都宮大学
	山口大学
	横濱市立大学

### SDG15 陸上資源★

順位	教育機関
=55	信州大学
58	早稲田大学
59	北海道大学
71	東京大学
=76	立命館大学
=76	横浜国立大学
=91	名古屋市立大学
101-200	千葉大学
	中央大学
	神奈川大学
	金沢大学
	慶應義塾大学
	立命館大学
	三重大
	名古屋大学
	東海大学
	東京農業大学
	東京都市大学
	東京理科大学
	宇都宮大学
	山口大学
	横濱市立大学

### SDG16 平和

順位	教育機関
=98	立命館大学
101-200	広島大学
	岡山大学
	立命館大学
	東北大学
	早稲田大学
	山口大学

### SDG17 実施手段

順位	教育機関
40	東京大学
63	北海道大学
84	京都大学
91	名古屋市立大学
101-200	広島大学
	名古屋大学
	岡山大学
	立命館大学
	東北大学
	早稲田大学
	山口大学



SDG1 貧困	貧困をなくそう	SDG10 不平等	人や国の不平等をなくそう
SDG2 飢餓	飢餓をゼロに	SDG11 都市	住み続けられるまちづくりを
SDG3 保健	すべての人に健康と福祉を	SDG12 生産・消費	つくる責任 つかう責任
SDG4 教育	質の高い教育をみんなに	SDG13 気候変動	気候変動に具体的な対策を
SDG5 ジェンダー	ジェンダー平等を実現しよう	SDG14 海洋資源	海の豊かさを守ろう
SDG6 水・衛生	安全な水とトイレを世界中に	SDG15 陸上資源	陸の豊かさを守ろう
SDG7 エネルギー	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	SDG16 平和	平和と公正をすべての人に
SDG8 成長・雇用	働きがいも経済成長も	SDG17 実施手段	パートナーシップで目標を達成しよう
SDG9 イノベーション	産業と技術革新の基盤をつくろう		

対象が全17目標に拡大  
世界からの関心高まる

「THE大学インパクトランキング」は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の枠組みに沿って、大学の社会貢献度を可視化したランキングだ。初公開の昨年度の指標は11目標だったが、今回は全17目標を指標としている。参加大学数は前回の倍近い857大学。日本からは72大学で、世界最多だった。なお、世界版とは全く異なる指標のため(P.11)、多様な大学が上位にランキングしているのも特徴的である。トップ100には北海道大学、東京大学、東北大学が入っている。THEのダンカン氏は、日本が好成績を挙げたSDG9には、日本の大学の産業界との強い関係性、技術革新への貢献が、SDG2には持続可能な農業活動への支援が反映されているとした。一方で向上の余地がある分野として、SDG4、SDG5を挙げた。それぞれ生涯学習の提供、学内の女性の地位向上などが改善につながるといふ。またSDG17では、豊かな国の大学が貧しい国の大学と専門知識・技術を共有することを重視することから、日本への期待が大きいと述べた。



# 高校教員の視点

## 大学の教育力の高さは 何で評価する？

日本の「教育充実度」には、高校教員の評判調査が反映されている。THEランキングに関心を寄せる高校教員は大学の教育力をいったい何で判断しているのか？



	Q.大学の教育力の高さを何で評価しているか？	Q.グローバル人材の育成については何で評価しているか？	Q.生徒に積極的に勧めたい大学は？	Q.「日本大学ランキング2020」を見て注目した大学は？
<p>鳥取県・私立 <b>青翔開智 中学校・高校</b> 織田澤博樹校長</p>	<p>本校の場合、探究学習を通じて卒業論文を書かせており、それが進路選択につながっている、生徒は「興味がある学問分野を自分のスタイルで引き続き学ぶことができる大学」「興味がある分野の教育力・研究力が高く、将来へ向けた進学・就職のフォローが充実している大学」を選んでいる。このようなプロセスで生徒が自信を持って選んだ大学は、「その生徒にとって」は価値のある大学であり、その分野において優れた成果・教育力があると考えている。</p>	<p>学生や教員の多様性の高さ。テンブル大ジャパンキャンパスは、教員と学生の出身国の多様性が高く、2019年には<b>昭和女子大</b>と施設の共同利用を始めたこと聞いた。この2大学の相互交流によるダイバーシティ推進に期待している。教育充実度が高く国際性も高い大学として<b>国際教養大、国際基督教大、立命館アジア太平洋大</b>が有名だが、最近では<b>神田外語大</b>の伸びも目覚ましい。理工系では<b>会津大</b>が両方高く、ITと国際性の分野で突き抜けていると聞く。</p>	<p>デザイン思考をベースとした探究学習を学んだ本校の生徒がそれをより深められる進路先を勧めたい。例えば創造的思考力を実社会に応用しイノベーションを起こす人材育成をしている<b>武蔵野美術大造形構想学部</b>や、全学的にデザイン思考に取り組んでいくと発信している<b>香川大</b>など。<b>情報経営イノベーション専門職大</b>は100社以上の企業とコラボしながらCTと英語を運用し起業家教育の実践と起業サポートがあると聞いた。起業家をめざす生徒に勧めたい。海外ではオーストラリアの<b>クィーンズランド工科大</b>。「実社会における実学 (real)」をコンセプトにeスポーツコースをいち早く開設、理系でも男子より女子が多い。創立50年以内の世界ランキングでは24位でお勧めだ。</p>	<p>本校では進路支援にTHEランキングの「世界版」「日本版」を活用している。日本版では教育充実度、国際性を重視している。地域別が使いやすい。<b>長岡技術科学大</b>や<b>豊橋技術科学大</b>は就職のよさからも勧め。今年本校から初の海外進学が出た。共に世界版で100位以内のトップ大学で、オーストラリアの<b>モナシュ大</b>と<b>ニューサウスウェールズ大</b>だ。鳥取からは東京に行くより行きやすい外国がたくさんある。ランキングを活用して海外の大学情報も提供する中、生徒は国内外こだわらず自分に合った大学を選びつつある。</p>
<p>広島県・県立 <b>呉三津田高校</b> 進路指導主任 上谷伸二先生</p>	<p>さまざまな大学情報誌やランキングのほか、卒業生の話も参考にして評価している。彼らは長期休暇に訪ねて来るほか、SNSを通じて、大学の様子をまめに知らせてくれる。また、<b>東京大、京都市大、九州大</b>への大学見学会も行っている。大学の中身をよく調べて選ぶよう指導した結果、本校の進学先は多様で幅広く、6〜7割は県外だ。進路指導部だけで大学の情報収集やアドバイスをを行うのではなく、教員全員で進路指導にあたり、情報を共有している。</p>	<p>主に、研究力の高さと大学(大学院)卒業後の進路実績を重視している。研究力を重視しているのは、これからのグローバル社会において、生徒がその興味・関心を追究することが大切だと思うから。もちろん、卒業生からの直接的な情報も生徒に進路指導する際に大いに参考している。大学名だけで判断せず、自分の将来像をイメージし、高校生のときから継続して追究していきたいテーマを発見し、研究していく、そういった一連の力を付けられるかが重要。そういう意味ではSGUトップ型の大学は生徒に勧めたい大学が多い。</p>	<p>本校は、WWLコンソーシアム構築支援事業<sup>*3</sup>連携校として「グローバル社会のリーダーを育成する」という教育目標を掲げている。<b>東京大</b>や<b>京都大</b>はもちろんだが、国際性という点で<b>東京外国語大</b>や<b>都留文科大</b>などにも注目している。特に都留文科大は、文学部国際教育学科で、文系学部では国内初のIB教員育成を始めたこと聞く。また、旧帝大やブロック大はもちろん、本校は例年理系生徒(特に工学系)が多く、大学卒業後の就職・進路実績が充実している<b>九州工業大</b>も勧めている。</p>	<p>現役学生の調査結果を指標項目に入れた教育充実度には注目している。特に高順位を安定的に保つ<b>国際教養大、筑波大</b>、順位を上げた<b>立命館アジア太平洋大</b>などにも注目している。実際に、筑波大に進学した卒業生からは充実した大学生活を送っていること聞く。今回、国際性が高まったことで、総合1位になった<b>東北大</b>の「世界と地域に開かれた大学」の理念におけるさまざまな取り組みに共感し、毎年進学希望者がいる。また、本校からの進学者が多い<b>広島大</b>も「世界トップ100」を目指す取り組みは注目に値するものが多く、高大接続という点でも注目している。</p>
<p>東京都・私立 <b>三田国際学園 中学校・高校</b> 学習進路指導部副部長 城野大輔先生</p>	<p>教育・研究の設備、環境がオープンかどうかを重視している。グローバル社会で活躍し、オープンイノベーションを起こすような人材を育成するためには、<b>学問の垣根を越えた議論ができる環境、異文化融合のオープンな学びの場が重要</b>だからだ。物理的にオープンだけでなく、オープンな議論を促すデザインの工夫があるかどうか。そこにこそ、大学の教育ポリシーが現れ、学生の能力伸長への力の入れ具合がわかる。生徒がオープンキャンパスで見る観点にも入れているぐらいだ。</p>	<p>留学だけでなく日本にいても、<b>グローバル社会のリアルに触れる体験を創出する大学は評価</b>する。4年間でどれだけグローバル社会の現場にコミットできる経験ができるかどうか。寮ひとつとっても、海外では自国の学生と留学生の混在型が一般的だが、日本は別々の場合が多い。授業以外の生活の場での多文化経験や交流が大切なことは、自身の留学経験からも痛感している。例えば、<b>桜美林大</b>は国際系があり、新設の新宿キャンパスはオープンな環境で社会実装PJなどが行われており、魅力的。</p>	<p>学生の興味関心を広げられるような大学を勧めたい。本校では「発想の自由人」の育成をめざし、中1から探究ベース、メタ認知重視の21世紀型スキルを養った結果、生徒は自分の興味関心に向き合えるようになった。しかしそれに固執しすぎると進路選択の視野が狭くなる。<b>進路指導では文理の枠にとらわれず、視野を横に広げるリベラルアーツの観点でも進路を考えるようにアドバイス</b>している。文理の枠を超えたオープンな学びの場、多様な人間が集まる学びの場やカルチャーがあるかどうか。<b>桜美林大</b>や<b>ICU</b>、文理融合の学びに取り組む<b>青山学院大</b>には期待している。</p>	<p>注目する指標は教育充実度。<b>筑波大</b>などは、大規模大学でもきめ細やかな教育、伝統だけでなく革新もある大学だという話をよく聞く。オープンな教育デザインかどうかを今後確かめたい。国際性は、混在の有無や、留学生向けにその地域、その大学ならではのローカルな学びがあるかといった指標項目の必要性も感じる。専門の学問はネットでも可能な時代。その大学でしか学べないことがないと、日本の大学は選ばれなくなってしまう。デジタルで置き換えられない教育があるという魅力があれば留学生からも、日本の高校生からも選ばれるのでは。</p>
<p>東京都・都立 <b>第五商業高校</b> 主幹教諭 下村恵子先生</p>	<p>高校における新学習指導要領に基づく学びの質の転換に対応して、大学での学びも新しいものとなることが不可欠だ。例えば、<b>少人数のゼミ活動がアクティブ・ラーニング</b>になっていたり、<b>評価基準をルーブリックで示し学びの過程を明確化</b>していたりすると、学生の満足度向上につながるのではないかと。また、近年、手厚く指導されることを当たり前と考える生徒が多くなっている。学習指導や就職活動のサポート体制が整っていることが必要と考える。</p>	<p>「カリキュラム全般が世界的な視野を取り入れている」「幅広い第2外国語の選択科目の設置」「交換留学プログラム等が充実している」「英語による授業や語学系資格を推奨したカリキュラム編成」「海外でのインターンシップの実施」など。第2外国語については、本校のように中国語、韓国語などの、英語以外の外国語教育に力を入れる高校がある。これをきっかけとして、熱心に学ぶ生徒も多い。また、「留学は大学で」と、大学進学と留学を同時に希望する生徒も増えている。個人面談等では、大学進学に対する動機付けとして、留学を「体験」できる機会を生徒に示している。</p>	<p>本校は商業高校であり、<b>在学時に簿記や情報処理等の多くの資格を取得している。これらの資格の上位級取得を推奨するカリキュラムがあったり、商業・経済系の研究所に進むプログラムが充実</b>していたりすると魅力的に感じ、勧めやすい。また、生徒たちが、将来像を描きやすいよう、卒業後の進路が明確であることも重視している。さらに、ただどんな特徴や取り組みであれ、それらが高校教員、保護者、生徒に伝わりやすいことが、大学を勧めやすいことにもつながる。</p>	<p>総合100位以内の大学に注目すると、<b>東北大</b>は、論文や各種受賞のニュースが豊富であり、その研究結果とともに、HP等で大学を知ること、生徒の大学選びのきっかけとなるのでは。日常的な社会貢献への取り組みも注目しており、地域への視野がある大学は今後の成長を感じる。また<b>中央大</b>は、本校からも進学した卒業生からの話もあり、大学での取り組みがよく伝わってくる。<b>桜美林大</b>も人気で、入学時から卒業まで、その後のキャリア形成まで手厚い指導があるところが安心。<b>駒澤大、東洋大</b>も同様のイメージが教員間で根強い。</p>
<p>秋田県・県立 <b>秋田南高校</b> 進路指導部教諭 中村 東先生</p>	<p>実際に大学入学した卒業生から、<b>どれくらい充実した大学生活を送っているかを聞き取っている</b>。私は高校卒業後も交流が続く卒業生が多く、SNS等を通じて大学入学後にどんな活動をしているか、どこに留学しているかも伝わってくる。また、<b>大学卒業時の就職活動についても聞き取り</b>をしており、「<b>出口</b>」を保証できる大学はどこなのか情報を得て、1つの判断材料にしている。</p>	<p>海外留学など、国際交流の機会がどれくらいあるかを見ている。ほかにはカリキュラムや学内で交流できる<b>海外留学生の人数</b>など。それに加えて、卒業後の就職先も確認するようにしている。</p>	<p>本校生徒は持っている能力は高いが、現状で届く目標を設定しがちである。そのため、<b>東京大</b>や<b>東北大</b>といった高い目標への挑戦を勧め、これらの難関と言われる大学をめざすことで自己の能力の向上や成長を促している。また、本校の教育から接続しやすいのは<b>国際教養大</b>。SGHや探究活動などを通して、本校が育てたいグローバルリーダー像と、国際教養大が求めている生徒像や、育てたい学生像に共通点があると感じている。地元大学であるために学生との交流や、イングリッシュ・レレッジなどのイベントへの参加を通して大学の様子を知る機会があり、生徒が直接大学の雰囲気を知って大学選択ができるため、生徒が志望する傾向にある。</p>	<p>今回、総合1位になった<b>東北大</b>に関しては、昨今の難化傾向から、評価が高まっているのは理解できるが、東北地区の生徒にとってはほとんど手の届きにくい大学になってしまっている印象がある。また、<b>東京工業大</b>は総合で同ランクの大学と比べ、<b>理系大学にもかかわらず国際性の評価が高い</b>のが驚きだった。本校では志望者の少ない大学だが、あらためて注目したい。</p>

### 大学選びを左右する 高校教育の質的転換

上の表は本ランキングに関心を寄せる高校教員の声をまとめたもの。「高校の教育や進路指導はどのくらい」といったイメージを覆すこれらの声の背景には、高校教育の質的転換がある。今、多くの高校が<sup>\*1</sup>新指導要領を軸に、探究学習など新しい教育に取り組んでいる。それらは従来の偏重重視の進路指導に大きな影響を与えつつある。「探究学習を突き詰める」と、自ずと進路は一人ひとり異なってくる。教員も国内外問わずさまざまな大学について調べ、<sup>\*2</sup>THEランキングなども活用しながらやっている」と語るのは、少子化が進む鳥取で21世紀型の教育に挑む青翔開智中高校の織田澤博校長。同校は、探究学習を通じて大学でやりたいことが明確になり、それをアピールできる武器ができるため、8割がAO・推薦入試で受験する。「これからは進路でも生活でも自分の中にリーダーを見出し、自分で自分を指導していく時代。われわれ教員は生徒を指導ではなく、サポートする立場」という考えから、進路指導を「進路支援」という言葉に変えたと<sup>\*3</sup>言う。また、競争の激しい東京の私立中高一貫校で一躍名をはせた三田国際学園中高校の城野教諭は、「多くの大学がPRするアクティブラーニングやリベラルアーツなどは、あくまで教育手段。それよりもオープンイノベーションが起きるような環境デザインがあるか教育力は見ていきたい」と指摘する。大学よりも先に少子化の影響を大きく受けている高校。教育改革に挑み生徒募集を好転させた私立校の意見は、多くの中堅私立大学が耳を傾けるべきだろう。

一方、マーケットが圧倒的に大きい公立校では今、普通科の特色化が議論されている。社会の変化や地域の実情をふまえたスクールミッションの再定義や、大学と同様、独自の教育目標、育てたい人材像を掲げて、その実現をめざすカリキュラム・マネジメントに取り組んでいる。これが進むと、自校で培った能力を、大学でより伸ばしてほしいと考えるのは当然だ。高校における教育の特色化が進むほど、高校教員は大学の教育をより深い視点で見ようになるはずだ。大学は「自学の教育がめざすもの」「それに向けた具体的な教育の取り組み」「エビデンスに基づいた教育成果」を積極的に発信することが、意欲の高い入学者を増やすカギになるだろう。

<sup>\*1</sup> 2022年度より年次進行で実施  
<sup>\*2</sup> 本記事タイトルの下の写真は、青翔開智中学校・高校の進路支援で実際に使っている日本版のポスター。合格実績のある大学にはマーカーで印をつけている  
<sup>\*3</sup> ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業。複数の高校、国内外の大学、企業等が協働してグローバルな社会課題研究プログラムを実施



# 教育の中身は偏差値では見えない。互いの教育を認め、リス・ペクトでできる大学と連携したい。

**大学こそ偏差値だけで高校や生徒を見てないか**

——偏差値ありきの進路指導はしないと聞きました。

本校にはアジアやロシア等近隣諸国の語学を専門的に学べる外国語科があり、韓国語やタイ語などを学ぶ生徒が多数在籍しています。ネイティブ講師による語学授業を3年間受講し、中長期の現地研修も経験します。彼らが高校で身に付けた国際感覚、言語能力は、英数国の学力を測る一般入試では評価できないものです。そのため、「一般入試で進学をしよう」と考える生徒は少数派で、多くが指定校推薦やAO入試を活用して進学します。

ため、多くの生徒は地元東京にこだわらず、自分が求める学びができる大学に進学します。その結果、例年地方の大学には40人程度、海外大進学者も2019年度には52人に達しました。

——日本版ランキングで注目している点は？

「言語で自分を伸ばしていく」という本校の学びとの親和性が高い大学を見つげるために、私立大の分野別ランキング、特に国際性と教育充実度に注目しています。「高校で学んだことをさらに伸ばせるか」「学生と教員の交流が盛んでホスピタリティがあるか」などを確かめるうえで参考になるからです。例えば本校が教育連携MOU（指定校推薦制度）を結んでいる韓国の釜山外国語大や慶熙大は、学生のケアが手厚い大学です。そういった情報が、教育充実度の数値化でもっと見えてくると参考にしやすいと感じます。

## 黒澤真爾

関東国際高校 副校長  
くろさわしんじ ●1989年韓国嶺南大学大学院修士課程修了。アジア学生文化協会アジアセミナー韓国語主任等を経て、2013年より現職。

——注目している大学は？

APUや神田外語大など、これまで生徒に勧めてきた大学が、国際性の上位にあります。また、珍しいアジア法専門の教員がいる関西大の政策創造学部、アジアと太いパイプを持つ実務家教員がいる亜細亜大の都市創造学部には、今後アジアで必要な人材の育成が期待できます。中国・韓国の大学とキャンパスアジア・プログラムを展開している立命館大、2年次でタイ、マレーシアへの留学が必須の青山学院大・地球社会共生学部、ロシア語学科を新設した京都外国語大も注目しています。これらは自分で調べて知ったことですが、高校にはほとんど認知されていないようです。もったいないと感じます。

——大学に伝えたいことは？

「偏差値で大学を見てほしくない」という大学関係者の声をよく耳にします。しかし、大学もまた

高校を偏差値で見えていないでしようか？ 偏差値では教育の中身はわかりません。

よって生徒の未来のためには、お互いがお互いの学びを相互評価し、親和性、連続性のある進学を考えることが大切ではないでしょうか。その試みとして今春より、神田外語大と東南アジア3言語の教育連携を始めました。これは互いの教育価値をわかり、リス・ペクトでできる関係をつくれないうでできません。共に補い、伸びていくような大学と今後も連携していきたいと思えます。

### 関東国際高校

東京都渋谷区/外国語科(英語コース近隣語各コース)、普通科。1学年約360人。国際教育プログラムが特徴で、国内のさまざまな大学だけでなく、海外大へも50人程度進学。

## Opinion

# 高校の教育は変わりつつある。社会変化へ柔軟に対応できる力を養い、生徒の特性に合った大学を提案したい。

**探究学習の中で気づく特性に合ったキャリア**

——大学の教育力の高さはどこで判断しているか？

教育力を見る際、まず重視するのは「教える内容×教え方」です。例えば産業能率大は、経営学を教える際に、ケースメソッドを取り入れていきます。このように学問分野にマッチした柔軟な学びの工夫がある大学には目が行きます。このランキングでは高校教員の評判調査で「入学後の能力伸長」を聞いていますが、大学には学生が入学から卒業まで、どのくらい成長したか、やり遂げたかがわかる情報の公開を望みます。

——グローバル人材育成についてはどうか。

私は、グローバルな人材を「地球規模から身の回りまでの視点を切り替えて考えられる人」と捉えています。その教育では「物事を

鳥の目、虫の目、魚の目、コウモリの目で捉える」ことが重要です。グローバル教育は決して留学、外国語、外国人教員という要素だけではありません。

本校の最近の卒業後の進路は、大学・短大が3割強、専門学校が5割弱、就職・その他が2割強であり、ある意味で多様性のある学校です。この多様性を生かした教育を行いたいと考えています。探究学習の一環として、「探究ゼミ」を実施しています。これは、10の大学や専門家と連携して10分野のゼミを開講し、生徒は関心のあるゼミに所属して一年間かけて主体的に学びます。グループで学び合う中で、自分の特性を自覚し、自分のキャリアについて考えるようになることを期待しています。その結果、進学先をネームバリューではなく、自分の特性に合う大学を進学先として主体的に選ぶようになってほしい。特にVUCAの

——日本版で注目した点は？

長岡技術科学大、会津大、APU、国際教養大、金沢工業大など、上位の大学は、学力の偏差値ではないところで「なぜ、高く評価されているのか」が気になるので調べます。その際に、大学側がその裏付けとなる情報を公表している、生徒にも勧めやすくなります。逆に、具体的な教育のイメージがわくような情報が公開されていない大学は、結局、知名度の高い大学に負けてしまうのではないのでしょうか。

——大学に伝えたいことは？

「探究ゼミ」の提携先を探る際に興味を持ち、積極的に話を聞いてくださった大学は、「教育的な



千葉県立浦安高校 総務部長

## 久保善啓

くぼよしひろ ●青年海外協力隊勤務を経て高校教員に。教職歴8年。探究学習に必要なタブレット購入費をクラウドファンディングで贈うなど、型破りな手法で教育改革に挑戦中。

視点に立った高大連携に熱心な大学」だと感じました。実際にご協力いただいた大学には頭が下がります。

本校は\*コミュニティ・スクー\*ルであると共に、県の福祉教育推進校に指定されているため、多くの場面で地域の皆さんの力を借りています。これにより学校は刺激を受け、社会のために、今、どんな教育が必要なのか、考える日々です。教員が教科書を教える生徒が習う時代から、生徒自らが問う時代になっています。大学には、各高校の取り組みに目を向けてもらい、高校で培った生徒の多面的な強みを評価して、受け入れ、成長を促してもらいたいと思います。

### 千葉県立浦安高校

千葉県浦安市/普通科。1学年約240人。進路実績は私立大(亜細亜大、国土館大、駒澤大、東洋大、二松学舎大など)に延べ50人が合格。短大・専門学校進学115人、就職33人。

\*保護者・地域住民、有識者などが学校運営に参画する制度。「開かれた学校づくり」を実現するのが狙い。全国507校(2019年)が導入している。



# Report 高校教員が勧める大学とは？

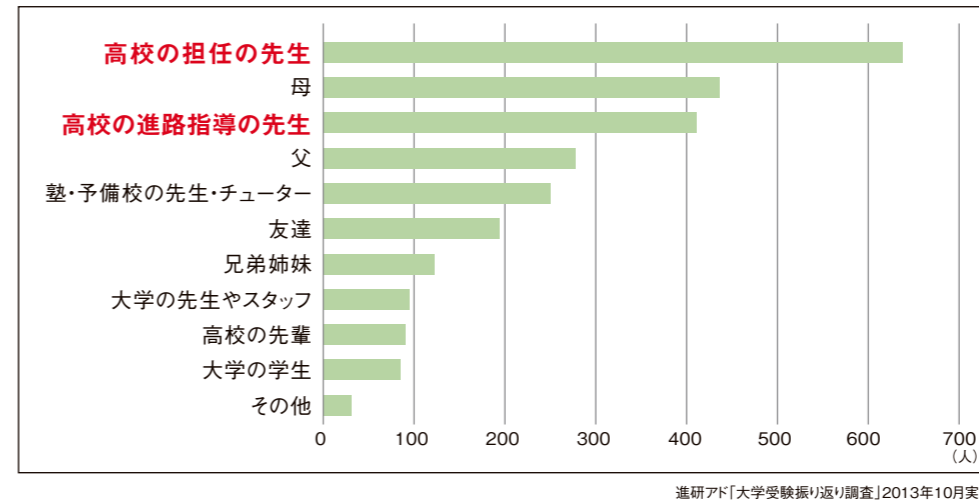
高校教員調査からわかる高校向け募集戦略のポイント



(株)進研アド 教育企画部部长  
**嶋 はる美**  
しまはるみ ●(株)進研アド入社以来、マーケティングリサーチ関連部署にて調査・データ分析を担当。マーケティングリサーチを通じた高等教育機関の課題抽出・解決支援に携わる。  
取材・文/本間学 撮影/亀井宏昭

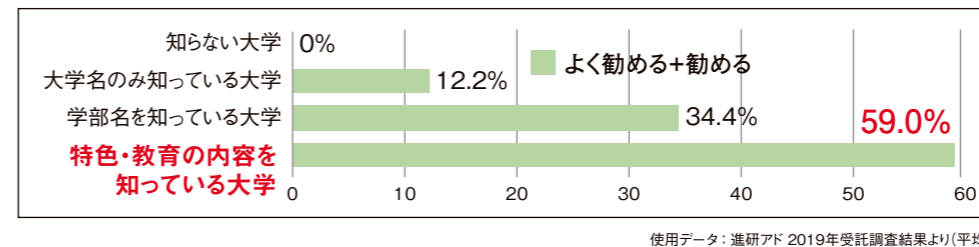
## 高校生が進路決定する際の相談役は高校教員

【図表1】進路を考えるうえで「とても参考にした」人は？



## 高校教員は教育内容を理解している大学を生徒に勧める

【図表2】生徒に当該大学を勧めますか？



### 進路選択における高校教員の影響力が拡大

現在、多くの大学が、高校生や保護者に対する広報活動を積極的に行っていますが、高校戦略についてはまだ試行錯誤の段階の大学が多いようです。受験生はさまざまな人に相談のうえ進路を決定しますが、中でも高校教員は学生募集戦略上、非常に重要なステークホルダーと言えます。

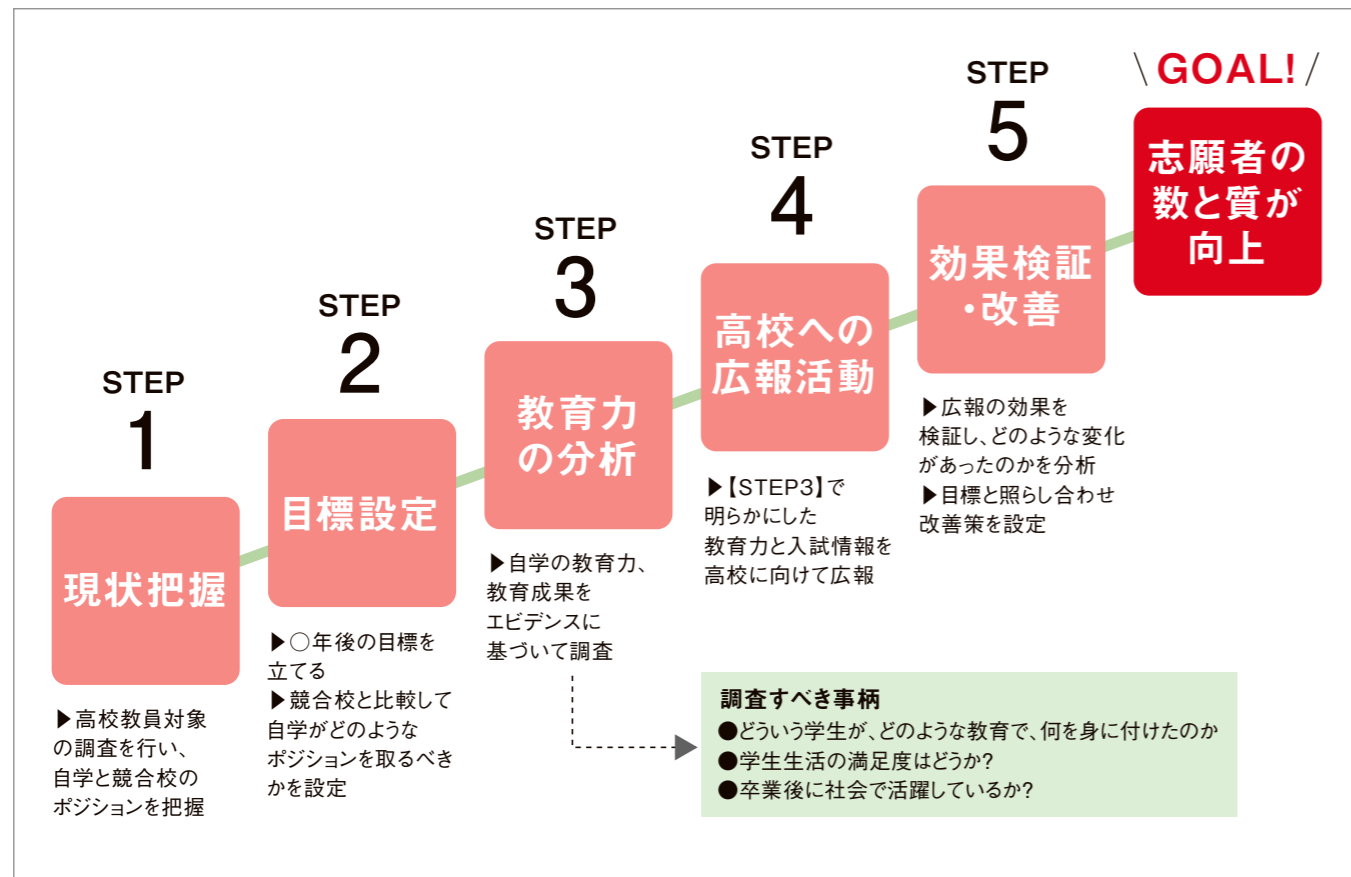
【図表1】は大学生に「進路を考えるうえで『とても参考にした』人」を聞いた調査結果です。トップは「担任の先生」であり、3位にも「進路指導の先生」が入っています。高校教員、特に担任が高校生の進路決定におけるキーパーソンであることがデータからうかがえます。さらに今後は、進路選択における高校教員の影響力がより強くなると予想されます。現3年生から、大学入学共通テ

ストが実施され、全入試区分で、学力の3要素を測る入試が行われます。初めてのことで不安を感じ、受験校選びを高校教員に頼る生徒が増えるのではないのでしょうか。また近年、高校は探究学習に力を入れていきます。一方で大学入試は高校での学びや活動を評価するようになっています。そのため、高校教員が行う進路指導も、生徒一人ひとりの特徴を思い浮かべ、高校での学びと親和性が高い教育をしているかという観点で大学を評価し、生徒に勧める形になっていくと考えられます。

### 伝えるべきは教育内容と入試の評価

では、どのような情報を高校教員に伝えるとよいのでしょうか？それは、「自学の教育の特色・内容」と「その教育に合う学生に求めているために、入試で何を評

【図表3】高校教員の評判を高め、効果的な学生募集を行うための5つのSTEP



価するか」です。【図表2】は、大学の理解度とその大学の推奨度の関係を調べた結果です。「大学名のみ知っている」という場合、生徒に勧める割合は約12%にとどまります。しかし、その大学の特色・教育内容まで知っている場合、59%にまでアップします。加えて、教育の特色と入試での評価観点の関係を提示することも重要です。高校までに培った学力をどう評価するか？入学後の成長に必要な力を入試でどう測っているのか？これら高大接続の観点から入試情報を伝えることも、高校教員推奨度を高める現実的なポイントです。

### 志願者の数と質、両方を効率的に高めるには？

【図表3】は、高校教員の評判の高め方を5つのSTEPにまとめたものです。STEP1は「現状把握」です。高校教員を対象に「今、自学はどう見られているか」「競合校と比べて、自学はどのようなポジションに位置付けられているか」を調査します。

STEP2は「目標設定」です。把握した自学の状況を競合校と比べて、○年後までに、どう変えていくのか、目標を立てます。

STEP3では、自学の教育力の強みを分析します。「どんな学生が、どんな力を付けているのか」「卒業後にどんな活躍をしているのか」といった点を調査し、具体的な強みを把握することが重要です。ポイントは、「学生の成長」です。例えば「面倒見がよい」という大学の特色。それを教育の特徴にブレークダウンするとどう表現されるか、学生は丁寧な教育によってどう成長しているかを、エビデンスとセットで示すことで高校教員の納得度は高まります。

STEP4、5では高校に自学の教育の強みを発信し、評判がどう変化したのか、していないのかを確かめ、設定した目標と照らし合わせて改善点を洗い出し、次のサイクルにつなげていきます。これまで学生募集は、主に志願者の数が優先されてきました。しかし、18歳人口が減少する今後は、「数から質」または「数と質の実現」へとシフトすることが必要です。数を確保しつつ同時にAPに合う学生を募集するには、生徒をよく知る高校教員に、自学の教育の理解者になってもらうことが大切です。大学の特徴に合った受験生を集めることで、入学後に学生が生き生きと活躍できるサイクルをつくっていくべきです。

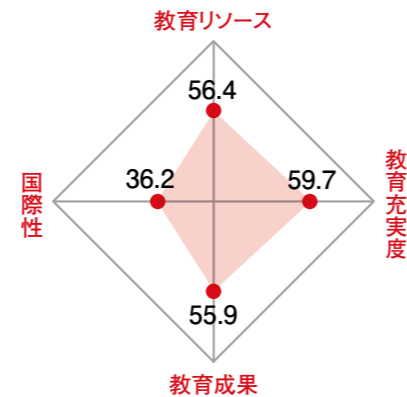




学生数/9135人 学部/人文、人間発達科学、経済、理、工、都市デザイン、医、薬、芸術文化  
大学院/人文科学、人間発達科学、経済学、芸術文化学、生命融合科学教育部、  
医学薬学教育部、理工学教育部、教職実践開発  
●THE世界大学ランキング2020/1001+位  
●同アジア大学ランキング2019/301-350位  
●同世界大学ランキング日本版2019/=89位

THE世界大学ランキング日本版2020の結果

分野	スコア	順位	参考データ
総合	53.3	79位	外国人学生比率/3.1%
教育リソース	56.4	=73位	日本人学生の留学比率/2.8%
教育充実度	59.7	122位	外国語で行われている講座の比率/3.7%
教育成果	55.9	66位	海外の大学との大学間交流協定数/219校
国際性	36.2	151-200位	



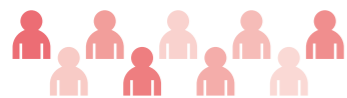
ALL富山での教養教育改革

～2017年度 五福(人文、人間発達科学、経済、理、工、都市デザイン)、杉谷(医、薬)、高岡(芸術文化)の3つのキャンパスに分かれて、専門とのつながりを重視した教養教育を展開

2018年度～

教養教育の「統合・改革」

全学部統一の授業科目メニューを提供  
9学部全ての学生が全学部統一の教養教育授業科目を履修可能。



学部混成のクラスによる教養教育など新たな取り組み

キャンパスや学部の壁を越えた多様な学びによる他者への理解の深化。

教養教育は基本的に五福キャンパスで1年次に実施

月	火	水	木	金
五福	五福	五福	杉谷	杉谷
			高岡	高岡

新しい教養教育を担う「教養教育院」  
教養教育に責任を持つ組織として「教養教育院」を設置し、課程編成と教育の質保証を担当。

各キャンパスを結ぶシャトルバスを運行



- 学びの多様化: 各キャンパスの科目メニューを全学で統合することで、学びの選択肢が増加
- 基盤の共通化: 学生に多様な学びを促す「学修の可視化ツール」の開発と全学での活用
- 交流の活性化: 学部の壁を越えた多様な学生の学び合い、研究者同士の交流の活性化

注目! 対話と評価の充実が ALL富山での改革推進の鍵

齋籐学長は就任以来、学生の声を直接聞くために学内を足しげく回っている。というのも、教職員だけでなく、学生も一緒になって「おもしろい大学」を実現させたいと考えているからだ。英語力の高い学生を対象とした学部横断プログラム「上級クラス」の設置は、学生の要望を受けて企画したもの。他にも、学生目線でさまざまな教育改善に取り組んでいる。

また、教員の人事評価では、全学共通の評価基準の導入を進めている。これは、教員の「がんばり」を全学的に、経年で追えるように可視化することが狙いで、努力に報いる評価のしくみを充実させたいと考えた。学生の意見や教員の挑戦などが、「おもしろい大学」づくりに生かされている。



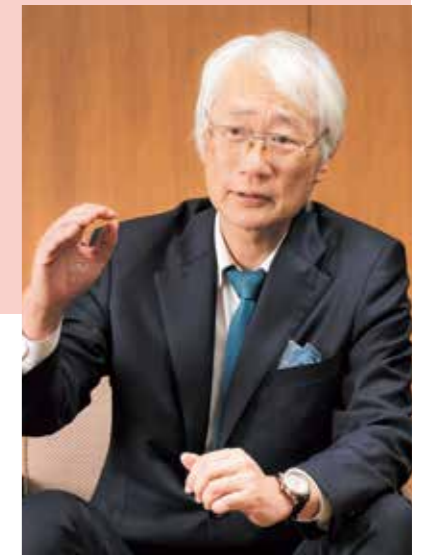
▲▶上は学長と学生のランチ会、右は学生企画による「学長・副学長と話す会」の様子。学生も大学づくりに参加している。

富山大学

CASE STUDY

ALL富山で取り組む「おもしろい大学」の実現

ランキングを活用して改革の方向性を全学で共有している富山大学。個々の力を結集し、全学を挙げて大学や地域の魅力向上に取り組んでいる。



学長 齋藤 滋  
さいとうしげる ●1980年奈良県立医科大学卒業、1984年同大学大学院医学研究科修了(1985年医学博士)。同大学産婦人科学助教授などを経て、1998年富山医科薬科大学(現富山大学)産婦人科学教授。2016年富山大学附属病院病院長、富山大学副学長。2019年より現職。専門は産婦人科学。

ランキング結果は成果や課題の共有ツール

今回の日本版ランキングで本学は、総合順位が10ランクアップしました。これは主に「教育成果」のスコアが上昇したためです。セミナーやPBLなどを通して地元企業との関係を深め、本学の教育がより深く理解されたことで評価が高まったと受け止めています。

一方で、「国際性」や「教育充実度」は課題です。留学生や学生に直接意見を聞くなどして、改善点を明らかにし、できることからどんどん改革を進めていきます。私は大学ランキングを、自身が改革改善に注力すべき点を示すインジケータ(指示器)だと捉えています。そのため、成果や課題を学内に周知し、共有するツールとして活用しています。

本学は県内の国立3大学が2005年に統合してできた大学です。今もキャンパスは3つに分かれており、それぞれに特徴的な学部構成であったことから、実質的な統合が進まないことが課題となっていました。しかし、課題はむしろ、伸びしろ。個々に取り組んで今の状態にあるのなら、みんなで取り組めばもっと魅力を高められるはず。私はこの大学を、「おもしろい大学」にしたと考えています。それは、学生や教職員が学問分野や立場を越えて互いに学び合い、ワクワクすることに一緒に挑戦する大学です。その実現に向けて今、ALL富山で改革に取り組んでいます。

さまざまな価値を生む学内外のネットワーク化

改革の第一弾が、教養教育の「統合・改革」です。以前は専門とのつながりを重視して、キャンパスごとに異なる科目メニューで教育を行っていました。それを、全学で科目メニューを統合し、1つのキャンパスに学生を集めて学部混成クラスで教育を行う形に変えました。これにより、学部の壁を越えて多様な学生が学び合う環境が整いました。ほかにも、全学共通

の学修ツールの開発など、資源の効率的な活用により、統合のメリットが生まれています。数理・データサイエンス教育にも、本学は全学部で取り組みます。本年度から1年生は全員が入門科目「情報処理」を履修します。2、3年次には学部ごとにそれぞれの専門性を反映した科目を用意しており、一定の単位を修得した学生には、プログラムの修了証を発行する予定です。これを学生が就職活動で活用すれば、企業に本学の数理・データサイエンス教育を周知できます。本学の教育への企業の信頼が高まれば、求人にもプラスに働かずして、全学で取り組むことで大学の特色として理解され、大きなインパクトを与えることができると考えています。

研究も、ALL富山で取り組めます。大学が研究で地域に貢献するには、論文ではなく具体的な成果をゴールにする必要があります。例えば、医、工、看護が連携したアルミ製の軽量車いすの開発では、地元のアルミ産業への貢献が期待できます。これは、研究者だけ、1つの学部だけ、本学だけではできないことです。今後も学内外のネットワーク化を進めて、本学や地元富山県の魅力をさらに高めていきます。

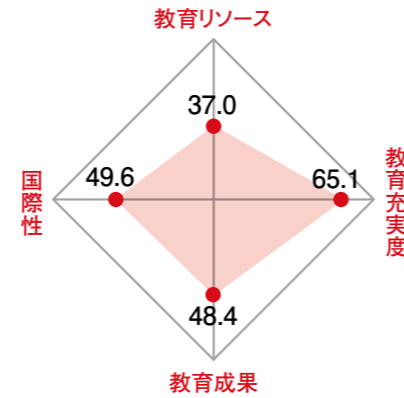




学生数/19876人 学部/文、経済、経営、法、政策、国際、先端理工、社会、農  
大学院/文学、経済学、経営学、法学、政策学、国際学、理工学、社会学、実践真宗学、農学  
●THE世界大学ランキング日本版2019/121-130位

THE世界大学ランキング日本版2020の結果

分野	スコア	順位	参考データ
総合	49.8	=100位	外国人学生比率/2.2%
教育リソース	37.0	150位	日本人学生の留学比率/8.3%
教育充実度	65.1	=79位	外国語で行われている講座の比率/1.7%
教育成果	48.4	109位	海外の大学との大学間交流協定数/212校
国際性	49.6	88位	



内発的改革を支援する龍谷IP事業

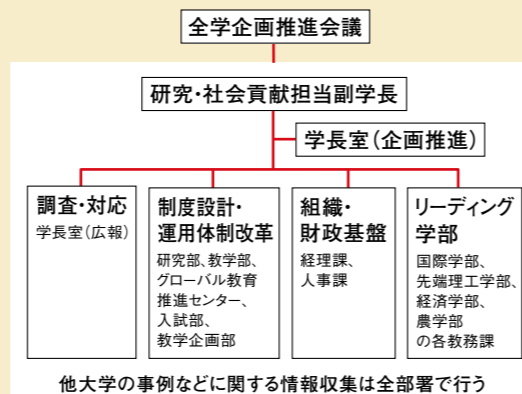
教育改革の取り組みに対して企画選定型で事業経費を補助する「龍谷IP (Ryukoku Inventive Program) 事業」

年度	採択取り組み (過去3か年)	部署
2020	産農学連携をベースとした複合領域型プロジェクトの推進 ~文理融合型キャンパス横断学修プログラムの構築を目指して~	農学部、経営学部
	市民的教養を起動する教養教育プログラムの開発 ~テーマを持った学びに誘う全学アクティブラーニング科目と領域融合科目の開発~	教養教育センター
	地域連携型教育 (CBL) プログラムのモデル化および質保証の実質化 ~現代ニーズに応える教育を目指して~	政策学部・政策学研究所
2019	社会人メンター制度導入のためのパイロットプロジェクト ~社会人と学生を繋ぐ、メンターシップという新たな共生の絆を紡ぐ~	法学部、キャリアセンター
	グローバル人材育成を目指すASEAN体感プログラム ~ベトナムおよびシンガポールの大学・企業をめぐる理工系スタディツアー~【第2期】	理工学部
	公募推薦入学者を対象とした入学前課題の実施【第2期】	理工学部、農学部
2018	「龍谷大学政策学部と南京大学金陵学院化学と生命科学学院との学生交換協定」に基づく学生交流プログラム ~地域自然資源の魅力を発掘し活用することで持続可能な自然共生社会のモデルを目指す~【第2期】	政策学部・政策学研究所
	地域協働と学科・専攻横断による実践的学修プログラムの構築 ~人文知を活かした新たな社会活動の試み~	文学部
	グローバル登龍門プロジェクト ~実践的なコミュニケーション力を備えた人財育成~	国際学部、グローバル教育推進センター、キャリアセンター
	英語力の向上を目指す多読指導	教養教育センター、図書館

注目! 全学タスクチームで取り組むランキングマネジメント

龍谷大学では、主管部署が他部署に対応を依頼する形ではなく、タスクチームの全部署が当事者となり、ランキングの活用と向上に取り組んでいる。例えば、経理課は教育・研究環境を充実させるための財政の整備を進めており、人事課は新たな人事制度の開発などを通して改革の後押しをしている。リーディング学部<sup>\*4</sup>は、留学プログラムの開発などに積極的に取り組み、全学のグローバル化を推進している。対策を短期(1年以内)、中期(3~4年以内)、長期(5年以上)に分けている点も特徴だ。短期はランキングの登録漏れ項目の洗い出し、中期は論文数の増加、長期は評判調査スコア向上などが課題だ。

13部署で構成される全学タスクチーム



他大学の事例などに関する情報収集は全部署で行う

\*4 グローバル化に先導的に取り組む国際学部、先端理工学部、経済学部、農学部の4学部

龍谷大学

CASE STUDY

外部指標を活用した内発的改革の促進

龍谷大学では、全学タスクチームを組織して大学ランキングの積極的な活用を推進。2016年度から取り組む「IP事業」と合わせて、内発的な改革を活性化させている。



学長 入澤 崇  
いりさわかし ●1986年龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学(文学修士)。1990年同大学に文学部講師として着任、経営学部教授、文学部教授、龍谷ミュージアム館長、文学部長等を経て2017年より現職。専門は仏教文化学で、中央アジアを中心に数多くの遺跡発掘の実績を持つ。

教育・研究の質向上に大学ランキングを活用

本学は、教育・研究の質向上に取り組む中で、積極的に大学ランキングを活用しています。というのも、ランキングを構成する指標項目には、教員構成やS/T比など、教育や研究に関わる基盤的要素が多く含まれており、それらを抜本的に改善すれば、結果的に質向上が果たせると考えるからです。加えて、質向上の達成度をランキングにより定量的に把握することもできます。しかし、理由はそれだけではありません。教育・研究の質を学外に伝えるツールとしての価値にも注目しています。高校では、大学の教育力や研究力を示す指標としてランキングの利用が定着しつつあります。その

ボトムアップの改革を「企画選定型」で支援

内発的な改革を支援するしくみ

ため、ランキングの順位を高めることは、本学の教育・研究に高校生が目を向ける機会を増やすことにもなります。教育・研究の質を高め、それを高校生にきちんと伝えていけば、改革と学生募集の好循環が期待できるのです。こうした考えの下、2019年度に全学タスクチームを組織し、ランキングの全学的な活用を推進しています。

タスクチームは、副学長を統括として全13の部署で編成されています。このチームの一番の役割は、ランキングの分析を通して本学の課題を共有し、当事者意識を持つて、各分野での内発的な改革を促すことにあります。参加部署には教育、研究、グローバル化などの分野で、意思決定を行う会議体の事務局が含まれています。まずはタスクチームで問題意識を共有し、それを各会議体へ伝え、改善の企画立案と実行につないでいきます。タスクチームが横串となることで、部門の枠を越えた改革案が生まれることも、期待しています。

として、2016年度から「IP事業」を始めました。これは、学部などの部署単位で申請した企画を審査し、優れた企画に事業経費を補助する学内の事業です。各学部・研究科等の個性・特色を促進・深化する取り組みのほかに、複数学部・研究科等による横断的な取り組みも対象としています。例えば、文学部。専門性を生かした地域貢献の一環として地域の歴史を調べて魅力を発信し、それをフリーペーパーで広く発信するなどの活動を行っています。これらを通して学生には、「今の自分にとってどのような社会貢献ができるのか」といった問題意識が芽生えつつあります。ボトムアップの企画だからこそ、当事者意識が高まりやすくなっています。本学は2019年度に、20年後の創立400周年に向けた指針を「龍谷大学基本構想400」にまとめました。その中で、「まごころMagokoro」ある市民の育成」をビジョンに掲げています。その\*2 KGIには広く国内外に認められることをめざして、\*3 THE世界大学ランキングの順位を設定しました。この目標と現状とのギャップを全学で意識し、内発的な改革により、ビジョンの実現をめざします。

\*1 龍谷IP (Ryukoku Inventive Program) 事業  
\*2 Key Goal Indicator \*3 日本版で上位5%以内相当、世界版で上位3%以内相当にランクイン

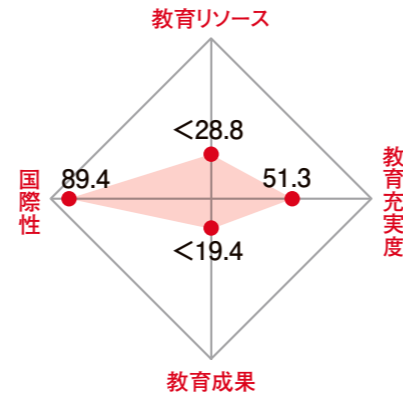




学生数/654人 学部/国際・英語  
大学院/21世紀国際共生  
●THE世界大学ランキング日本版2019/141-150位

THE世界大学ランキング日本版2020の結果

分野	スコア	順位	参考データ
総合	38.3-44.8	151-200位	外国人学生比率/11.3%
教育リソース	<28.8	-	日本人学生の留学比率/9.8%
教育充実度	51.3	151-200位	外国語で行われている講座の比率/30.1%
教育成果	<19.4	-	海外の大学との大学間交流協定数/14校
国際性	89.4	4位	



世界のトピックを英語で学ぶPBL

カリキュラムの特徴は「Content-based」(内容重視)かつ「Student-centered」(学生が主体的に学ぶ)のPBL。学生一人ひとりの英語習熟度に対応できる豊富なオリジナル教材をそろえている。



POINT 1

ひとつのテーマを、複数の授業と関連して学習。多角的な視点を養いながら、知識と理解を深める。

POINT 2

読む・聴く・話す・書く。英語「で」学ぶ授業で、4つのスキルを統合的に学び、実践レベルに引き上げる。

POINT 3

iPadに搭載された、オリジナルデジタル教科書を使用。情報収集や資料作成もスムーズにできる。

英語と教養の統合課程を  
少人数のPBLで



学長 加藤映子

かとうえいこ ●大阪女学院大学国際・英語学部教授。Ed.D(教育学博士)。大阪女学院短期大学卒業。国際社会教育団体で活躍後、ボストン大学教育学部での留学を経て2003年ハーバード大学教育大学院博士課程修了。1998年～2001年フルブライト留学生。専門は言語習得、最新テクノロジーを活用する教育。

CASE STUDY

大阪女学院大学

英語“で”学ぶ教育課程で  
実践力の高い国際人養成

前年に引き続き「国際性」分野の4位にランクインした大阪女学院大学。高スコアの背景にある教育の特徴、学内の国際性向上の取り組みについて聞いた。

本学は国際・英語学部の1学部、入学定員は150人の小さな大学です。2年連続で「国際性」が4位となり、前身のウエルミナ女学校から続く、英語“で”学ぶ教育に自信ができました。とはいえ、創立以来、同じ教育を踏襲してきたわけではありません。短大開学後15年を過ぎた80年代初頭に、21世紀に向けた英語教育とは何かを検討し、若手教員中心に教育改革を行いました。平和、人権、環境、文化など、学ぶべきトピックの英語教材を自主開発し、英語4技能を統合的に学ぶしくみを整えたのです。2004年に開学した本学の教育は、この英語で学ぶ教養教育がベースです。1、2年次は21世紀の課題を、3、4年次はめざ

す職業に直結する専門課程を英語で学ぶため、英語による授業は3割を占めます。英語“で”学ぶことにこだわるのは、世界に自分の思いを伝える、世界の人と関わることを教育の目的としているからです。そのため、授業は少人数のPBLが中心です。学生はiPadを駆使し、世界のトピックをリサーチ、ディスカッション、そして発表を行います。クラスは英語習熟度別に編成されており、自分に合ったペースで学べます。その結果、TOEICのスコアは3年半で平均210点伸び、留学した学生は難なく現地の専門教育に接続できるので、提携校からは好評です。航空業界や企業の海外部門などで活躍する卒業生が多いのも特徴でしょう。多くの課題に取り組むため、学生はiPadを使っていつでもどこでも勉強しています。正直、しんどい。そんなとき、頼りになるのはリーダーシップトレーニングを受けた有志の先輩「ビッグシスター」たち。学生は入学後から彼女らに励まされ、進級すると、今度は先輩の面倒を見るようになります。たとえ第1志望の入学者でなくても、徐々に学びへの意欲や能力が上がるような教育環境を提供できていると自負しています。

小規模だからこそ可能な  
教育力を広めたい

国際性の高さのもう一つの特徴は、1割を占める留学生の存在です。留学生は日本人学生と同じクラスで学びます。教室では日本語が苦手な留学生と、外国文化に興味のある日本人学生が英語でコミュニケーションを取り、助け合いながら学ぶ様子が見られます。こうした環境が日本人学生の留学への動機付けにもなっています。ただし、留学生比率を過度に高めるつもりはありません。留学生が本学に留学する目的は、英語と日本語を身に付け、日本で就職すること。就職支援まで考えると、責任を持って受け入れられるのは入学定員の10%程度でしょう。本学の教育の本分は、「教育を施す」ではなく、「一人ひとりを育てる」ことであり、それは、少人数の大学だからできること。私自身、全学生向けの授業を受け持っています。全員とコミュニケーションをとり、卒業後もキャリアの相談に乗るような強い関係性を維持しています。今後は国際性4位を支える教育や学修成果を可視化して広め、高校生に「選ばれる大学」をめざしていきます。

注目! ICTを積極的に活用し  
学生の個別学修を支援

大阪女学院大学では、2012年度の新入生から全員がiPadを活用している。情報教育と英語教育の個別最適化の両方をめざしたものだ。短期大学での教育改革から30年にわたり、英語教育のオリジナル教材を作成してきた。平和、文化、人権、環境など多彩なテーマを扱う英語学習は、一般的なテキストでは対応が難しかったため。現在は、音声や動画などを取り入れたオリジナルデジタル教材をiPadに搭載して授業で活用している。また、オンラインの多読プログラムの導入により、学生は自分のレベルに合わせて読み、リーディング力を伸ばしている。教員は各自の達成度のログの取得がしやすくなった。今後は英語以外にも活用を広げる意向だ。



▲iPadを活用することで、情報収集や資料作成がスムーズに。英語とICTの運用力が同時に高められる





\* Times Higher Education (THE)が2020年3月24日に公表した情報に基づいています  
 \* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \* 世界版2020：World University Rankings 2020(2019年9月発表)／アジア2019年9月発表／アジア2019年9月発表に掲載しています  
 \* 1～100位は個別に順位がつきます。101～150位は約10校ごと、151～200位は約50校ごと、201+位は約80校と同順位としています  
 \* 1：同順位の大学あり／－：各分野の順位が201位以下のためスコア非表示／NR：前年エントリーしていないエントリーしただけでランキングがつかなかった大学  
 \* データ提供：Times Higher Education (THE)



2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員リソース Resources	教育実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2020 順位	アジア2019 順位
1	3	国	東北大学	宮城県	84.1	80.6	96.6	73.9	83.0	251-300	=31
2	1	国	京都大学	京都府	83.4	78.7	98.4	69.1	81.5	65	11
=3	2	国	東京大学	東京都	86.5	79.8	94.1	64.0	81.2	=36	8
=3	7	国	東京工業大学	東京都	80.1	80.8	92.8	74.5	81.2	251-300	30
5	4	国	九州大学	福岡県	76.4	79.9	97.4	70.9	79.7	401-500	58
6	=5	国	北海道大学	北海道	73.8	83.4	94.1	72.3	79.6	401-500	68
7	=5	国	名古屋大学	愛知県	78.2	80.5	96.1	66.9	79.5	301-350	34
8	8	国	大阪大学	大阪府	78.0	77.2	97.9	68.1	78.9	301-350	40
9	9	国	筑波大学	茨城県	74.1	84.9	94.4	59.6	77.7	401-500	=76
10	10	公	国際教養大学	秋田県	52.8	93.0	71.0	100.0	77.2	NR	NR
11	11	私	国際基督教大学	東京都	52.8	90.5	60.6	97.6	74.3	NR	NR
12	12	国	広島大学	広島県	66.5	79.0	78.4	68.9	72.6	601-800	=148
13	13	私	早稲田大学	東京都	52.7	79.3	93.0	74.6	71.5	601-800	=166
14	14	私	慶應義塾大学	東京都	60.8	76.3	93.7	58.2	70.2	601-800	=138
15	16	国	神戸大学	兵庫県	66.1	75.4	83.4	55.5	69.5	601-800	=156
16	15	国	一橋大学	東京都	51.3	78.4	76.6	70.9	67.4	NR	NR
17	21	国	長岡技術科学大学	新潟県	61.4	69.3	68.4	72.1	67.1	1001+	301-350
=18	18	国	金沢大学	石川県	65.9	76.5	58.4	61.0	66.9	801-1000	=200
=18	22	国	東京農工大学	東京都	69.8	68.5	69.4	57.4	66.9	801-1000	=188
20	17	私	上智大学	東京都	43.4	82.8	66.3	81.3	66.5	1001+	301-350
=21	27	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	33.7	84.3	60.4	99.0	66.2	NR	NR
=21	20	国	東京外国語大学	東京都	43.3	81.5	66.8	81.9	66.2	NR	NR
23	19	国	千葉大学	千葉県	63.3	75.9	72.0	50.2	65.9	801-1000	=168
24	26	公	会津大学	福島県	63.9	76.8	33.9	74.0	65.0	601-800	=160
25	25	国	お茶の水女子大学	東京都	64.2	76.9	55.7	55.0	64.8	1001+	301-350
26	31	国	京都市芸繊維大学	京都府	59.3	67.1	65.4	67.8	64.3	1001+	301-350
27	NR	国	熊本大学	熊本県	63.6	70.9	59.3	59.1	64.2	801-1000	201-250
28	24	国	岡山大学	岡山県	60.6	71.9	61.0	60.0	63.9	801-1000	=200

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員リソース Resources	教育実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2020 順位	アジア2019 順位
=29	32	国	東京海洋大学	東京都	63.1	69.4	63.6	55.7	63.6	1001+	301-350
=29	23	国	東京医科歯科大学	東京都	84.2	58.2	29.4	64.0	63.6	401-500	66
31	28	国	横浜国立大学	神奈川県	54.0	70.2	72.6	60.8	63.2	1001+	251-300
32	29	国	豊橋技術科学大学	愛知県	68.5	61.7	45.2	70.6	63.1	1001+	251-300
33	33	私	立命館大学	京都府	42.3	78.8	68.5	66.8	62.3	1001+	351-400
34	=41	私	豊田工業大学	愛知県	76.8	56.1	57.8	48.6	61.9	NR	NR
35	44	私	芝浦工業大学	東京都	48.8	71.5	61.6	66.9	61.3	1001+	351-400
=36	34	私	神田外語大学	千葉県	35.8	82.6	55.5	76.8	61.2	NR	NR
=36	30	公	横浜国立大学	神奈川県	69.8	69.9	47.1	44.9	61.2	501-600	127
38	NR	国	九州工業大学	福岡県	56.4	74.0	59.4	51.0	61.1	1001+	251-300
39	36	私	東京理科大学	東京都	55.6	78.6	69.5	35.6	60.7	801-1000	201-250
40	=46	公	福岡女子大学	福岡県	49.4	71.9	32.1	83.8	60.3	NR	NR
41	43	国	電気通信大学	東京都	64.9	62.0	65.1	45.4	60.2	1001+	251-300
42	39	公	東京都立大学	東京都	58.4	69.8	64.0	43.0	59.7	601-800	=80
43	40	国	長崎大学	長崎県	59.5	68.4	56.0	47.9	59.3	1001+	251-300
44	=57	私	津田塾大学	東京都	38.2	79.4	57.8	64.0	58.9	NR	NR
=45	35	私	同志社大学	京都府	40.9	77.4	63.7	57.2	58.8	1001+	401+
=45	37	私	関西学院大学	兵庫県	40.1	76.7	57.7	64.4	58.8	1001+	351-400
=47	=48	国	秋田大学	秋田県	58.2	64.8	60.7	48.4	58.6	1001+	351-400
=47	=41	私	立教大学	東京都	38.2	79.4	56.8	63.6	58.6	801-1000	147
=49	=48	私	学習院大学	東京都	43.3	70.8	62.6	62.4	58.4	NR	NR
=49	38	公	大阪市立大学	大阪府	65.8	62.4	65.6	34.1	58.4	801-1000	201-250
51	51	公	神戸市外国語大学	兵庫県	34.2	68.3	55.6	84.9	58.0	NR	NR
52	=46	国	信州大学	長野県	57.9	70.1	62.9	35.2	57.8	1001+	201-250
=53	54	私	明治大学	東京都	41.7	77.8	63.7	48.6	57.4	1001+	301-350
=53	45	国	新潟大学	新潟県	57.5	72.8	51.4	38.8	57.4	801-1000	201-250
55	NR	国	帯広畜産大学	北海道	60.2	56.3	57.7	52.1	57.0	NR	NR
56	NR	国	名古屋工業大学	愛知県	59.1	62.2	63.3	39.8	56.8	1001+	301-350

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員リソース Resources	教育実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2020 順位	アジア2019 順位
57	=48	公	大阪府立大学	大阪府	61.6	56.1	67.6	39.3	56.5	1001+	251-300
58	=57	国	福井大学	福井県	60.5	60.0	56.1	43.6	56.3	1001+	351-400
59	=60	国	鳥取大学	鳥取県	61.2	62.3	56.2	37.1	55.9	1001+	351-400
60	53	私	中央大学	東京都	45.1	75.9	57.2	41.2	55.5	1001+	301-350
61	64	国	愛媛大学	愛媛県	55.6	63.0	61.0	39.4	55.4	1001+	251-300
=62	70	私	関西外国語大学	大阪府	-	68.4	56.0	83.2	55.2	NR	NR
=62	=62	私	聖路加国際大学	東京都	65.5	56.8	-	64.1	55.2	NR	NR
64	73	私	東洋大学	東京都	-	79.5	48.9	70.7	55.0	1001+	401+
=65	NR	私	南山大学	愛知県	35.2	70.7	50.6	67.9	54.9	NR	NR
=65	59	国	山形大学	山形県	54.8	68.9	55.8	33.2	54.9	1001+	251-300
=65	52	国	山口大学	山口県	52.8	69.5	46.2	43.6	54.9	1001+	301-350
68	56	私	法政大学	東京都	39.2	76.4	57.4	46.7	54.8	1001+	301-350
68	84	国	徳島大学	徳島県	62.2	58.4	58.1	33.0	54.6	1001+	201-250
69	84	公	公立ほこく未来大学	北海道	50.0	73.0	47.3	40.4	54.5	NR	NR
=70	=68	公	宇都宮大学	栃木県	50.2	64.8	63.8	38.7	54.5	1001+	401+
=72	78	私	青山学院大学	東京都	35.1	76.2	59.4	49.3	54.2	1001+	301-350
=72	=60	私	関西大学	大阪府	43.6	70.9	57.6	44.4	54.2	1001+	351-400
=75	83	公	高知工科大学	高知県	52.7	71.4	48.6	35.5	54.2	NR	NR
=75	55	国	岐阜大学	岐阜県	58.4	56.2	61.8	37.1	54.0	1001+	301-350
=75	=65	私	近畿大学	大阪府	41.6	75.0	57.6	40.7	54.0	601-800	=166
=75	=79	私	創価大学	東京都	37.7	53.6	49.8	85.4	54.0	NR	NR
78	62	国	群馬大学	群馬県	61.1	60.3	53.2	32.5	53.8	1001+	251-300
79	=89	国	富山大学	富山県	56.4	59.7	55.9	36.2	53.3	1001+	301-350
80	63	国	佐賀大学	佐賀県	55.6	61.7	51.0	38.4	53.2	1001+	251-300
=81	=65	国	鹿児島大学	鹿児島県	57.2	61.9	49.8	35.2	53.0	1001+	301-350
=81	100	国	島根大学	島根県	56.6	58.7	51.6	39.4	53.0	1001+	301-350
83	=75	国	埼玉大学	埼玉県	47.9	62.1	56.4	44.8	52.9	1001+	251-300
84	=68	国	静岡大学	静岡県	51.1	63.3	55.2	37.9	52.8	1001+	301-350
85	=79	公	秋田県立大学	秋田県	57.9	64.9	52.6	-	52.6	NR	NR
86	=79	公	北九州市立大学	福岡県	33.7	71.1	53.0	55.7	52.4	NR	NR
87	=71	公	静岡県立大学	静岡県	58.7	62.1	42.4	34.5	52.3	1001+	301-350
88	86	国	茨城大学	茨城県	47.3	67.4	55.7	33.6	51.9	1001+	351-400
89	NR	国	高知大学	高知県	58.1	58.5	49.1	33.2	51.8	1001+	251-300
90	74	私	名古屋外国語大学	愛知県	-	65.1	37.2	83.7	51.7	NR	NR
=91	85	国	岩手大学	岩手県	48.3	60.2	63.4	34.8	51.6	1001+	301-350
=91	67	公	名古屋市立大学	愛知県	68.8	49.2	42.7	33.2	51.2	801-1000	=173
93	87	私	順天堂大学	東京都	66.5	55.5	38.6	-	51.2	801-1000	=173

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員リソース Resources	教育実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	世界2020 順位	アジア2019 順位
94	=96	国	三重大学	三重県	52.5	58.5	50.8	37.9	51.1	1001+	NR
=95	=71	公	愛知県立大学	愛知県	47.3	56.5	30.3	64.0	50.7	NR	NR
=95	111-120	私	桜美林大学	東京都	-	68.2	54.6	71.0	50.7	NR	NR
97	=92	私	武蔵大学	東京都	29.2	71.4	52.6	53.8	50.5	NR	NR
98	88	国	香川大学	香川県	55.2	55.3	53.1	32.7	50.4	1001+	201-250
99	101-110	公	札幌医科大学	北海道	78.5	50.2	19.4	-	50.0	801-1000	201-250
=100	121-130	私	釧谷大学	京都府	37.0	65.1	48.4	49.6	49.8	NR	NR
=100	95	私	昭和女子大学	東京都	32.6	72.9	30.0	60.4	49.8	NR	NR
101-110	99	私	獨協大学	埼玉県	-	70.4	55.5	54.4	48.9-49.7	NR	NR
=96	NR	国	浜松医科大学	静岡県	80.6	-	19.4	-	48.9-49.7	801-1000	201-250
NR	私	金沢工業大学	石川県	33.5	78.9	63.1	-	48.9-49.7	NR	NR	
NR	私	北里大学	東京都	57.9	56.0	50.7	-	48.9-49.7	1001+	301-350	
NR	私	京都外国語大学	京都府	-	59.2	33.8	81.1	48.9-49.7	NR	NR	
=79	91	私	京都産業大学	京都府	34.8	68.6	49.6	46.4	48.9-49.7	NR	NR
121-130	121-130	公	新潟県立大学	新潟県	37.2	60.3	33.8	66.7	48.9-49.7	NR	NR
NR	私	西南学院大学	福岡県	-	71.1	51.4	53.1	48.9-49.7	NR	NR	



2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員/学生 Resources	教育投資率 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall	世界2020 順位	7・77・2019 順位
121-130	111-120	国	山梨大学	山梨県	57.2	-	43.2	35.3	46.8/47.6	1001+	251-300
131-140	121-130	私	愛知医科大学	愛知県	75.7	-	-	-	46.2/46.7	801-1000	251-300
	131-140	私	同志社女子大学	京都府	32.4	64.0	48.9	43.1	46.2/46.7	NR	NR
	131-140	国	福島大学	福島県	45.4	55.5	39.0	39.9	46.2/46.7	NR	NR
	NR	私	九州産業大学	福岡県	-	61.8	51.2	62.6	46.2/46.7	NR	NR
	121-130	国	宝塚工業大学	北海道	42.7	49.8	55.8	41.0	46.2/46.7	801-1000	301-350
	131-140	私	日本医科大学	東京都	75.7	-	-	31.3	46.2/46.7	601-800	=116
	NR	私	大阪医科大学	大阪府	75.5	-	-	-	46.2/46.7	1001+	NR
	131-140	私	帝京大学	東京都	36.4	65.8	45.9	34.1	46.2/46.7	401-500	=78
	111-120	私	東京国際大学	埼玉県	-	58.8	33.0	81.1	46.2/46.7	NR	NR
	101-110	私	東京女子大学	東京都	32.2	63.9	43.6	46.6	46.2/46.7	NR	NR
141-150	131-140	私	千葉工業大学	千葉県	35.0	69.8	45.1	-	45.0/45.9	1001+	401+
	131-140	私	中京大学	愛知県	-	62.1	45.4	52.4	45.0/45.9	NR	NR
	121-130	私	福岡大学	福岡県	35.6	63.9	46.2	32.8	45.0/45.9	NR	NR
	121-130	私	名城大学	愛知県	36.9	60.2	47.2	36.0	45.0/45.9	1001+	351-400
	101-110	私	小樽商科大学	北海道	30.3	71.9	24.2	48.0	45.0/45.9	NR	NR
	131-140	国	滋賀大学	滋賀県	37.1	55.8	55.8	35.0	45.0/45.9	NR	NR
	121-130	私	玉川大学	東京都	38.1	52.9	52.4	39.3	45.0/45.9	NR	NR
	111-120	私	東海大学	東京都	37.9	61.9	45.1	33.5	45.0/45.9	1001+	351-400
151-200	121-130	私	東京都市大学	東京都	39.1	56.1	45.7	42.3	45.0/45.9	1001+	351-400
	141-150	私	愛知大学	愛知県	-	63.0	25.9	53.6	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	亜細亜大学	東京都	-	-	30.6	70.2	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	中部大学	愛知県	33.2	55.2	43.6	32.6	38.3/44.8	1001+	351-400
	141-150	私	藤田医科大学	愛知県	64.3	-	20.1	-	38.3/44.8	401-500	=74
	141-150	公	福井県立大学	福井県	46.7	-	43.4	37.6	38.3/44.8	NR	NR
	151+	公	群馬県立女子大学	群馬県	-	58.5	-	57.5	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	広島工業大学	広島県	31.7	55.9	47.8	-	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	北陸大学	石川県	-	49.6	-	66.2	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	星薬科大学	東京都	53.8	-	46.1	-	38.3/44.8	NR	NR
	151+	公	茨城県立医療大学	茨城県	56.2	52.5	-	-	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	国際医療福祉大学	栃木県	41.8	61.3	-	43.4	38.3/44.8	NR	NR
	151+	公	石川県立大学	石川県	58.4	-	30.8	-	38.3/44.8	NR	NR
	NR	公	岩手県立大学	岩手県	49.2	57.9	27.8	-	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	私	神奈川大学	神奈川県	-	62.1	46.7	41.9	38.3/44.8	1001+	351-400
	141-150	私	関西医科大学	大阪府	71.7	-	20.1	-	38.3/44.8	501-600	201-250
	NR	私	神戸女学院大学	兵庫県	-	61.2	30.5	54.8	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	駒澤大学	東京都	-	60.9	45.1	36.7	38.3/44.8	NR	NR

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員/学生 Resources	教育投資率 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall	世界2020 順位	7・77・2019 順位
151-200	NR	私	久留米大学	福岡県	49.6	50.9	38.7	-	38.3/44.8	601-800	NR
	141-150	私	共愛学園前橋国際大学	群馬県	-	61.6	-	69.5	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	京都薬科大学	京都府	53.2	-	56.6	-	38.3/44.8	NR	NR
	NR	公	京都府立大学	京都府	50.9	49.9	37.2	-	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	明海大学	千葉県	33.6	-	-	54.0	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	私	宮崎国際大学	宮崎県	-	60.6	-	74.6	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	武蔵川女子大学	兵庫県	31.5	56.2	42.2	38.0	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	武蔵野大学	東京都	30.8	54.2	35.4	44.7	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	私	筑波技術大学	茨城県	59.4	-	-	-	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	日本獣医生命科学大学	東京都	47.2	-	28.0	-	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	産業医科大学	福岡県	69.6	-	19.4	-	38.3/44.8	351-400	NR
	111-120	国	大分大学	大分県	55.4	49.3	32.1	-	38.3/44.8	1001+	351-400
	NR	私	岡山理科大学	岡山県	32.0	52.8	43.8	-	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	私	大阪経済法科大学	大阪府	-	53.2	-	74.2	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	大阪女子学院大学	大阪府	-	51.3	-	89.4	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	大阪工業大学	大阪府	36.0	-	48.7	-	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	公	県立広島大学	広島県	49.4	51.7	-	41.1	38.3/44.8	NR	NR
	NR	公	熊本県立大学	熊本県	35.6	52.4	23.9	39.0	38.3/44.8	NR	NR
	121-130	私	麗澤大学	千葉県	-	59.4	20.2	79.3	38.3/44.8	NR	NR
	151+	私	成城大学	東京都	29.4	57.1	35.0	-	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	専修大学	東京都	-	62.2	45.3	-	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	公	滋賀県立大学	滋賀県	46.3	-	-	34.7	38.3/44.8	NR	NR
	101-110	私	昭和大学	東京都	63.7	-	20.8	-	38.3/44.8	1001+	251-300
	NR	私	崇城大学	熊本県	33.0	64.3	-	43.2	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	聖マリアンナ医科大学	神奈川県	72.1	-	-	-	38.3/44.8	801-1000	NR
	NR	私	拓殖大学	東京都	-	53.8	26.0	61.4	38.3/44.8	NR	NR
	NR	私	多摩大学	東京都	-	-	24.2	65.3	38.3/44.8	NR	NR
	111-120	私	東邦大学	東京都	57.8	-	41.3	-	38.3/44.8	1001+	251-300
	151+	私	東北学院大学	宮城県	29.5	63.4	46.4	31.4	38.3/44.8	NR	NR
	131-140	私	東京電機大学	東京都	36.7	59.8	54.0	-	38.3/44.8	1001+	401+
	151+	私	東京工科大学	東京都	33.3	-	43.1	-	38.3/44.8	NR	NR
	NR	公	都留文科大学	山梨県	-	72.4	-	48.0	38.3/44.8	NR	NR
	141-150	公	山口県立大学	山口県	33.7	55.5	-	41.1	38.3/44.8	NR	NR
	201+	私	愛知工業大学	愛知県	33.4	52.6	38.1	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	朝日大学	岐阜県	42.7	-	-	31.8	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	麻布大学	神奈川県	47.1	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	梅光学院大学	山口県	-	-	-	86.8	18.3/38.1	NR	NR

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教員/学生 Resources	教育投資率 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall	世界2020 順位	7・77・2019 順位
201+	151+	私	佛教大学	京都府	28.8	-	-	38.8	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	文京学院大学	東京都	-	51.7	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	大東文化大学	東京都	-	52.3	47.8	35.8	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	福井工業大学	福井県	-	-	48.7	34.0	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	福岡女学院大学	福岡県	-	50.6	-	58.4	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	羽衣国際大学	大阪府	-	-	-	40.5	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	白鷺大学	栃木県	-	54.6	32.4	37.0	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	北海道医療大学	北海道	38.0	-	42.2	-	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	広島文化学園大学	広島県	-	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	広島経済大学	広島県	-	49.6	-	34.6	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	広島女子学院大学	広島県	-	-	-	46.7	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	広島修道大学	広島県	-	52.2	-	42.4	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	北海道科学大学	北海道	-	-	28.9	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	城西大学	埼玉県	34.5	-	27.8	39.1	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	城西国際大学	埼玉県	-	-	-	43.8	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	神奈川工科大学	神奈川県	29.5	53.9	31.6	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	関西国際大学	兵庫県	-	51.1	-	56.7	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	関西学院大学	兵庫県	-	49.3	44.9	33.2	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	惠泉学院大学	東京都	-	51.6	-	73.2	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	神戸学院大学	兵庫県	-	51.8	25.4	-	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	皇學館大学	三重県	-	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	國學院大學	東京都	-	63.7	27.9	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	甲南女子大学	兵庫県	29.4	-	35.2	-	18.3/38.1	NR	NR
	NR	公	釧路公立大学	北海道	-	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	宮城公立大学	宮城県	42.2	53.7	-	31.1	18.3/38.1	NR	NR
	NR	公	宮城大学	宮城県	-	57.3	-	52.1	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	名桜大学	千葉県	29.6	61.1	-	39.6	18.3/38.1	NR	NR
	151+	公	前橋工科大学	群馬県	38.9	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	京都先端科学大学	京都府	-	-	-	31.4	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	京都光華女子大学	京都府	-	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	NR	私	京都橘大学	京都府	29.4	52.5	23.4	34.5	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	京都橘大学	京都府	38.9	-	-	-	18.3/38.1	NR	NR
	151+	私	明星大学	千葉県	29.6	61.1	-	39.6	18.3/38.1	NR	



# 分野別ランキング 教育リソース

\* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \* =：同順位の大学あり/  
 \* NR：前年エントリーしていない、エントリーしたけどランキングがつかなかった大学  
 \* 公式サイトでは全ランキングを掲載しています

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
1	1	国	東京大学	東京都	86.5
2	2	国	東京医科歯科大学	東京都	84.2
3	4	国	東北大学	宮城県	84.1
4	3	国	京都大学	京都府	83.4
5	NR	公	京都府立医科大学	京都府	82.8
6	5	私	兵庫医科大学	兵庫県	81.2
7	5	国	浜松医科大学	静岡県	80.6
8	5	国	東京工業大学	東京都	80.1
9	10	国	東京工業大学	東京都	78.6
10	6	国	滋賀医科大学	滋賀県	78.5
11	6	国	札幌医科大学	北海道	78.2
12	7	国	名古屋大学	愛知県	78.0
13	8	公	大阪大学	大阪府	78.0
14	16	私	奈良県立医科大学	奈良県	77.3
15	16	私	豊田工業大学	愛知県	76.8
16	NR	公	福島県立医科大学	福島県	76.5
17	11	私	九州大学	福岡県	76.4
17	13	私	愛知医科大学	愛知県	75.7
17	12	私	日本医科大学	東京都	75.7
19	NR	私	大阪医科大学	大阪府	75.5
20	14	私	筑波大学	茨城県	74.1
21	14	国	北海道大学	北海道	73.8
22	17	私	東京慈恵会医科大学	東京都	73.4
23	17	私	聖ヨリコフ医科大学	神奈川県	72.1
24	18	私	関西医科大学	大阪府	71.7
25	19	国	東京農工大学	東京都	69.8
25	19	公	横浜国立大学	神奈川県	69.8
27	NR	私	産業医科大学	福岡県	69.6
28	22	公	名古屋市立大学	愛知県	68.8
29	23	国	豊橋技術科学大学	静岡県	68.5
30	24	国	広島大学	広島県	66.5
30	21	私	順天堂大学	東京都	66.5
32	24	私	神戸大学	兵庫県	66.1
33	27	国	金沢大学	石川県	65.9
34	26	公	大阪市立大学	大阪府	65.8
35	38	私	大塚国際大学	東京都	65.5
36	31	私	電気通信大学	東京都	64.9
37	42	私	藤田医科大学	愛知県	64.3
38	29	国	お茶の水女子大学	東京都	64.2
39	41	私	会津大学	福島県	63.9
40	32	私	昭和大学	東京都	63.7
41	NR	私	熊本大学	熊本県	63.6
42	30	国	千葉大学	千葉県	63.3
43	33	国	東京海洋大学	東京都	63.1
44	34	国	徳島大学	徳島県	62.2

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
45	35	公	大阪府立大学	大阪府	61.6
46	54	国	長岡技術科学大学	新潟県	61.4
47	38	国	鳥取大学	鳥取県	61.2
48	36	国	群馬大学	群馬県	61.1
49	46	私	慶徳義塾大学	東京都	60.8
50	37	国	岡山大学	岡山県	60.6
51	44	国	福井大学	福井県	60.5
51	49	国	宮崎大学	宮崎県	60.2
52	NR	国	帯広畜産大学	北海道	60.2
54	NR	公	富山県立大学	富山県	59.8
55	38	私	長崎大学	長崎県	59.5
56	52	国	筑波技術大学	茨城県	59.3
57	43	国	京都市工芸繊維大学	京都府	59.3
58	NR	公	名古屋工業大学	愛知県	59.1
59	48	国	静岡県立大学	静岡県	58.7
60	28	公	岐阜大学	岐阜県	58.4
60	46	公	石川県立大学	石川県	58.4
60	50	公	東京都立大学	東京都	58.4
63	55	公	秋田県立大学	秋田県	58.2
64	NR	私	高知大学	高知県	58.1
64	NR	公	秋田県立大学	秋田県	57.9
65	56	私	北里大学	東京都	57.9
65	62	私	信州大学	長野県	57.9
66	45	私	信州大学	長野県	57.9
68	53	私	新潟大学	新潟県	57.8
68	53	私	新潟大学	新潟県	57.5
69	50	国	鹿児島大学	鹿児島県	57.2
70	60	国	鹿児島大学	鹿児島県	57.2
72	72	国	島根大学	島根県	56.6
73	NR	国	富山大学	富山県	56.4
73	73	国	茨城県立医療大学	茨城県	56.2
75	75	公	茨城大学	茨城県	56.2
76	76	私	佐賀大学	佐賀県	55.6
76	67	私	東京理科大学	東京都	55.6
79	61	私	大分大学	大分県	55.4
80	66	国	香川大学	香川県	55.2
81	63	国	山形大学	山形県	54.8
82	63	国	奈良女子大学	奈良県	54.4
83	70	公	兵庫県立大学	兵庫県	54.0
83	83	公	兵庫県立大学	兵庫県	54.0
85	73	私	京都市科大学	京都府	53.8
85	69	私	星薬科大学	東京都	53.2
86	NR	私	国際教養大学	東京都	52.8
87	81	私	山口大学	山口県	52.8
87	71	私	山口大学	山口県	52.8
90	74	私	高知医科大学	高知県	52.7
90	75	私	早稲田大学	東京都	52.7
92	92	私	三重大学	三重県	52.5
93	77	私	神奈川歯科大学	神奈川県	52.2
94	NR	私	琉球大学	沖縄県	51.5
94	82	私	一橋大学	東京都	51.3
95	77	私	静岡大学	静岡県	51.1
96	75	私	静岡大学	静岡県	51.1
97	NR	公	京都府立大学	京都府	50.9

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
98	99	国	宇都宮大学	栃木県	50.2
99	84	公	公立ほぐてて未来大学	北海道	50.0
100	NR	私	福岡大学	福岡県	49.6
101	80	公	福岡大学	福岡県	49.4
101	86	公	岩手県立大学	岩手県	49.4
103	NR	公	鹿児島工業大学	鹿児島県	49.2
104	86	私	鹿児島工業大学	鹿児島県	48.8
105	86	私	鹿児島工業大学	鹿児島県	48.4
106	82	国	鹿儿岛大学	鹿児島県	48.3
107	88	国	鹿儿岛大学	鹿児島県	47.9
107	NR	私	鹿儿岛大学	鹿児島県	47.9
109	NR	公	鹿儿岛大学	鹿児島県	47.5
110	92	私	愛知県立大学	東京都	47.3
110	94	国	茨城大学	茨城県	47.3
112	89	私	日本獣医生命科学大学	東京都	47.2
113	91	私	大阪医科大学	神奈川県	47.1
113	NR	私	大阪薬科大学	大阪府	47.1
115	90	公	福井県立大学	福井県	46.7
115	90	公	岡山県立大学	岡山県	46.4
116	NR	公	滋賀県立大学	滋賀県	46.4
117	NR	公	北里大学	北海道	46.3
118	NR	公	北里大学	北海道	46.0
119	95	私	福島大学	福島県	45.4
120	95	私	中央大学	東京都	45.1
121	98	私	関西女子大学	東京都	43.9
122	103	私	上智大学	東京都	43.6
123	97	私	学習院大学	東京都	43.4
124	104	私	国際医療福祉大学	東京都	43.3
126	100	私	埼玉県立大学	埼玉県	43.1
127	107	私	朝日大学	東京都	43.1
129	102	私	立命館大学	京都府	42.7
130	108	私	富山県立大学	富山県	42.3
131	105	私	東京農業大学	東京都	42.0
132	NR	私	国際医療福祉大学	東京都	41.8
133	105	私	明治大学	東京都	41.8
134	111	私	近畿大学	大阪府	41.6
135	109	私	同志社大学	京都府	40.9
136	112	私	関西学院大学	京都府	40.9
137	116	私	法政大学	東京都	40.1
137	110	私	成蹊大学	東京都	39.2
139	115	私	京都市科大学	京都府	39.1
140	119	私	前橋工科大学	群馬県	38.9
141	113	私	福岡工業大学	福岡県	38.7
142	118	私	津田塾大学	東京都	38.2
144	124	私	玉川大学	東京都	38.1
145	121	私	北海道医療大学	北海道	38.0
146	121	私	北海道医療大学	北海道	38.0
147	127	私	創価大学	東京都	37.7
148	150	私	新潟県立大学	新潟県	37.2
149	122	私	滋賀大学	滋賀県	37.1
150	151+	私	龍谷大学	京都府	37.0

# 分野別ランキング 教育充実度

\* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \* =：同順位の大学あり/  
 \* NR：前年エントリーしていない、エントリーしたけどランキングがつかなかった大学  
 \* 公式サイトでは全ランキングを掲載しています

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育充実度 Enrichment
1	1	公	国際教養大学	秋田県	93.0
2	2	私	国際基督教大学	東京都	90.5
3	3	私	筑波大学	茨城県	84.9
4	5	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	84.3
5	7	私	北海道大学	北海道	83.4
6	4	私	上智大学	東京都	82.8
7	5	私	神田外国語大学	千葉県	82.6
8	10	国	東京外国語大学	東京都	81.5
9	25	国	東京工業大学	東京都	80.8
10	8	国	東北大学	宮城県	80.6
11	9	国	名古屋大学	愛知県	80.5
12	23	国	九州大学	福岡県	79.9
13	11	国	東京大学	東京都	79.8
14	14	私	東洋大学	東京都	79.5
14	13	私	立教大学	東京都	79.4
15	20	私	津田塾大学	東京都	79.4
17	20	私	早稲田大学	東京都	79.3
18	17	私	広島工業大学	東京都	79.0
19	18	私	金沢工業大学	石川県	78.9
20	18	私	立命館大学	京都府	78.8
21	15	国	京都大学	京都府	78.7
22	22	私	東京理科大学	東京都	78.6
23	19	私	一橋大学	東京都	78.4
24	35	私	明治大学	東京都	77.8
25	20	私	同志社大学	京都府	77.4
26	24	私	お茶の水女子大学	大阪府	77.2
27	30	国	会津大学	福島県	76.9
28	27	公	関西学院大学	兵庫県	76.8
29	16	私	関西学院大学	兵庫県	76.7
30	29	私	全沢大学	石川県	76.5
31	25	私	慶徳義塾大学	東京都	76.4
32	28	私	青山学院大学	東京都	76.3
33	36	私	千葉大学	東京都	76.2
34	42	私	中央大学	千葉県	75.9
36	38	私	神戸大学	東京都	75.9
37	31	私	近畿大学	兵庫県	75.0
38	NR	私	九州工業大学	福岡県	74.0
39	43	私	公立ほぐてて未来大学	北海道	73.0
40	39	私	昭和大学	東京都	72.9
41	52	私	新潟大学	新潟県	72.8
42	NR	私	都留文科大学	山梨県	72.4
43	34	私	福岡女子大学	福岡県	71.9
43	45	私	岡山大学	岡山県	71.9

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育充実度 Enrichment
43	53	国	小樽商科大学	北海道	71.9
46	47	私	芝浦工業大学	東京都	71.5
47	49	私	高知工科大学	高知県	71.4
47	32	私	明治学院大学	東京都	71.4
47	37	私	武蔵大学	東京都	71.4
50	40	私	北九州市立大学	福岡県	71.1
50	62	私	西南学院大学	福岡県	71.1
52	41	私	関西国際大学	大阪府	70.9
52	NR	私	熊本大学	熊本県	70.9
54	51	私	学習院大学	東京都	70.8
55	NR	私	南山大学	東京都	70.7
56	48	私	獨協大学	埼玉県	70.4
57	43	私	信州大学	長野県	70.2
58	58	私	横浜国立大学	神奈川県	70.1
59	63	私	横浜国立大学	神奈川県	69.9
60	65	私	千葉工業大学	千葉県	69.8
60	53	私	東京工業大学	東京都	69.8
60	59	私	東京都立大学	東京都	69.8
63	50	私	山口大学	山口県	69.5
64	61	国	東京海洋大学	東京都	69.4
65	55	国	長岡技術科学大学	新潟県	69.3
66	45	私	山形大学	山形県	68.9
67	58	私	京都産業大学	京都府	68.6
68	73	私	京都市立大学	京都府	68.5
68	67	私	京都市立大学	京都府	68.5
69	56	私	関西外国語大学	大阪府	68.4
69	56	私	長崎大学	長崎県	68.4
71	83	私	神戸市外国語大学	兵庫県	68.3
72	67	私	桜井林大学	東京都	68.2
73	69	私	福岡工業大学	福岡県	67.8
74	67	私	茨城大学	茨城県	67.4
75	60	私	東京農業大学	東京都	67.3
76	85	私	京都工芸繊維大学	京都府	67.1
77	66	私	一橋大学	東京都	66.4
78	81	私	帝京大学	東京都	65.8
79	74	私	龍谷大学	京都府	65.1
79	76	私	龍谷大学	京都府	65.1
81	84	私	秋田県立大学	秋田県	64.9
82	96	私	宇都宮大学	栃木県	64.8
84	76	私	秋田大学	秋田県	64.8
84	NR	私	崇城大学	熊本県	64.8
85					



## 分野別ランキング 教育成果

\* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \* =：同順位の大学あり/  
 \* NR：前年エントリーしていない、エントリーしたけどランキングがつかなかった大学  
 \* 公式サイトでは全ランキングを掲載しています

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育成果 Outcomes
1	1	国	京都大学	京都府	98.4
2	4	国	大阪大学	大阪府	97.9
3	3	国	九州大学	福岡県	97.4
4	7	国	東北大学	宮城県	96.6
5	6	国	名古屋大学	愛知県	96.1
6	11	国	筑波大学	茨城県	94.4
7	8	国	北海道大学	北海道	94.1
=7	2	国	東京大学	東京都	94.1
9	5	私	慶應義塾大学	東京都	93.7
10	9	私	早稲田大学	東京都	93.0
11	10	国	東京工業大学	東京都	92.8
12	13	国	神戸大学	兵庫県	83.4
13	14	国	広島大学	広島県	78.4
14	12	国	一橋大学	東京都	76.6
15	15	国	横浜国立大学	神奈川県	72.6
16	16	国	千葉大学	千葉県	72.0
17	17	公	国際教養大学	秋田県	71.0
18	19	私	東京理科大学	東京都	69.5
19	18	私	東京農工大学	東京都	69.4
20	25	私	立命館大学	京都府	68.5
21	27	国	長岡技術科学大学	新潟県	68.4
22	23	公	大阪府立大学	大阪府	67.6
23	22	公	東京外国語大学	東京都	66.8
24	=20	私	上智大学	東京都	66.3
25	=20	公	大阪市立大学	大阪府	65.6
26	26	国	京大工芸繊維大学	京都府	65.4
27	30	国	電気通信大学	東京都	65.1
28	32	公	宇都宮大学	栃木県	64.0
29	=34	国	同志社大学	京都府	63.8
=30	24	私	明治大学	東京都	63.7
32	28	私	東京海洋大学	東京都	63.6
33	44	国	岩手大学	岩手県	63.4
34	38	私	名古屋工業大学	石川県	63.3
35	NR	私	金沢工業大学	長野県	62.9
36	31	私	信州大学	東京都	62.6
37	54	私	学習院大学	東京都	61.8
38	58	国	岐阜大学	岐阜県	61.8
39	45	私	愛媛大学	愛媛県	61.6
=40	64	国	愛媛県立大学	愛媛県	61.0
=40	29	国	岡山大学	岡山県	61.0
42	37	私	秋田大学	秋田県	60.7
43	85	私	国際基督教大学	東京都	60.6
44	77	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	60.4

## 分野別ランキング 国際性

\* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \* =：同順位の大学あり/  
 \* NR：前年エントリーしていない、エントリーしたけどランキングがつかなかった大学  
 \* 公式サイトでは全ランキングを掲載しています

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	国際性 Environment
1	1	公	国際教養大学	秋田県	100.0
2	3	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	99.0
3	2	私	国際基督教大学	東京都	97.6
4	4	私	大阪女学院大学	大阪府	89.4
5	15	私	梅光学院大学	山口県	86.8
6	16	私	創価大学	東京都	85.4
7	=6	私	神戸市外国語大学	兵庫県	84.9
8	13	公	名古屋外国語大学	福岡県	83.8
9	9	私	長崎外国語大学	愛知県	83.7
10	18	私	関西外国語大学	大阪府	83.2
11	10	私	東京外国語大学	東京都	82.5
12	14	私	上智大学	東京都	81.9
13	8	私	京都外国語大学	京都府	81.3
=14	12	私	東京国際大学	東京都	81.1
=14	5	私	名古屋商科大学	埼玉県	80.6
16	17	私	名古屋商科大学	愛知県	80.6
17	=6	私	麗澤大学	千葉県	79.3
18	11	私	神田外国語大学	千葉県	76.8
=19	19	私	宮崎国際大学	宮崎県	74.6
=19	=25	私	早稲田大学	東京都	74.6
21	=22	国	東京工業大学	東京都	74.5
22	21	私	大阪経済法科大学	大阪府	74.2
23	20	公	会津大学	福島県	74.0
24	46	私	東北大学	宮城県	73.9
25	=42	私	恵泉女学院大学	東京都	73.2
26	24	国	北海道大学	北海道	72.3
27	28	国	長岡技術科学大学	新潟県	72.1
28	38	私	桜美林大学	東京都	71.0
=29	29	国	一橋大学	東京都	70.9
=29	=22	国	九州大学	福岡県	70.9
31	=47	私	東洋大学	東京都	70.7
32	39	私	豊橋技術科学大学	愛知県	70.6
33	=25	私	亜細亜大学	東京都	70.2
=34	31	私	城西国際大学	東京都	69.5
=34	40	私	共愛学園前橋国際大学	群馬県	69.5
36	30	国	京都大学	京都府	68.9
37	32	国	広島大学	広島県	68.9
38	=47	国	大阪大学	大阪府	68.1
39	NR	私	南山大学	愛知県	67.9
40	51	私	京都工芸繊維大学	京都府	67.8
=41	36	私	名古屋工業大学	愛知県	66.9
=41	=62	私	芝浦工業大学	東京都	66.9
43	37	私	立命館大学	京都府	66.8
44	34	公	新潟県立大学	新潟県	66.7

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	教育成果 Outcomes
=45	56	私	青山学院大学	東京都	59.4
=45	NR	国	九州工業大学	福岡県	59.4
47	NR	国	熊本大学	熊本県	59.3
48	33	国	全沢大学	石川県	58.4
49	=74	国	徳島大学	徳島県	58.1
=50	=105	私	豊田工業大学	愛知県	57.8
=50	=34	私	津田塾大学	東京都	57.8
=52	=74	私	関西学院大学	兵庫県	57.7
=52	NR	私	帝広畜産大学	北海道	57.7
=54	36	私	関西大学	大阪府	57.6
=54	59	私	近畿大学	大阪府	57.6
=54	57	私	法政大学	東京都	57.6
=57	41	私	中央大学	東京都	57.4
58	39	私	中央大学	東京都	57.2
59	NR	私	立教大学	東京都	56.8
60	40	私	京都薬科大学	京都府	56.6
61	=49	私	埼玉大学	埼玉県	56.4
62	=52	国	鳥取大学	鳥取県	56.2
63	89	国	福井大学	福井県	56.1
=64	71	国	関西外国語大学	長崎県	56.0
=64	67	国	長崎大学	長崎県	56.0
66	=118	国	富山大学	富山県	55.9
=67	=102	国	室蘭工業大学	北海道	55.8
=67	=72	国	滋賀大学	滋賀県	55.8
=67	63	国	山形大学	山形県	55.8
=70	=46	国	茨城大学	茨城県	55.7
72	68	公	お茶の水女子大学	東京都	55.6
=73	78	私	神戸市外国語大学	兵庫県	55.6
=73	65	私	獨協大学	埼玉県	55.5
75	42	私	神田外国語大学	千葉県	55.5
76	122	私	静岡大学	静岡県	55.2
=77	=86	私	日本女子大学	兵庫県	54.8
=77	=105	私	兵庫県立大学	東京都	54.6
80	61	私	桜美林大学	東京都	54.6
81	=52	私	甲南大学	東京都	54.4
81	60	私	東京電機大学	東京都	54.0
82	80	私	成蹊大学	東京都	53.2
83	51	私	群馬大学	群馬県	53.2
84	104	公	香川大学	香川県	53.1
85	99	公	北九州市立大学	福岡県	53.0
85	NR	私	東北工業大学	宮城県	52.8
=86	66	私	秋田県立大学	秋田県	52.6
=86	=81	私	武蔵大学	東京都	52.6
88	84	私	北見工業大学	北海道	52.5
88	NR	私	玉川大学	東京都	52.4
90	110	国	鳥根大学	東京都	51.6
=91	55	私	新潟大学	新潟県	51.4
=91	=74	私	西南学院大学	福岡県	51.4
93	NR	私	九州産業大学	福岡県	51.2
94	=72	国	佐賀大学	佐賀県	51.0
95	70	国	三重大学	三重県	50.8
96	43	私	北里大学	三重県	50.7
97	NR	私	南山大学	東京都	50.6

2020 順位	2019 順位	区分	教育機関	都道府県	国際性 Environment
=98	=49	国	鹿児島大学	鹿児島県	49.8
=98	=102	私	創価大学	東京都	49.8
100	90	私	福岡産業大学	福岡県	49.6
=101	138	私	福岡工業大学	福岡県	49.4
=101	=94	私	工学院大学	東京都	49.4
103	NR	私	高知大学	高知県	49.1
=104	151+	私	同志社女子大学	京都府	48.9
=104	=97	私	東洋工業大学	東京都	48.9
=106	125	私	福井工業大学	福井県	48.7
=106	79	私	大阪工業大学	大阪府	48.7
108	133	私	高知工科大学	高知県	48.6
109	=97	私	龍谷大学	京都府	48.4
110	=100	私	日本大学	東京都	47.9
=111	127	私	大東文化大学	東京都	47.8
=111	117	私	広島工業大学	広島県	47.8
=113	117	私	多摩美術大学	東京都	47.7
114	=92	私	公立ほくたて栄養大学	北海道	47.3
114	=107	私	名城大学	愛知県	47.2
115	=46	私	横浜国立大学	神奈川県	47.1
116	=46	私	神奈川大学	神奈川県	46.7
117	111	私	大阪経済大学	大阪府	46.5
118	NR	私	東北学院大学	宮城県	46.4
119	123	私	東北学院大学	宮城県	46.4
=120	115	私	山口大学	山口県	46.2
=122	139	私	星薬科大学	山口県	46.2
123	116	私	帝京大学	東京都	46.1
124	112	私	東京都市立大学	東京都	45.9
125	121	私	中央大学	東京都	45.7
126	NR	私	東京大学	東京都	45.4
127	69	私	豊橋技術科学大学	愛知県	45.3
=128	120	私	千葉工業大学	千葉県	45.2
=128	96	私	駒澤大学	東京都	45.1
=128	109	私	東海大学	東京都	45.1
131	NR	私	関西学院大学	神奈川県	44.9
132	NR	私	岡山理科大学	岡山県	43.8
=133	NR	私	中部大学	愛知県	43.6
=133	=86	私	東京女子大学	東京都	43.6
=135	=118	私	福井県立大学	福井県	43.4
136	91	公	山梨大学	山梨県	43.2
137	80	公	名古屋工科大学	東京都	43.1
138	48	私	名古屋市立大学	愛知県	42.7
=139	=126	私	静岡県立大学	静岡県	42.4
=141	151+	私	北海道医療大学	北海道	42.2
=141	151+	私	武庫川女子大学	兵庫県	42.2
=148	148	私	順天堂大学	東京都	41.3
=148	151+	私	明星大学	東京都	38.6
=149	151+	私	富山県立大学	富山県	38.6
=149	=125	国	富山県立大学	富山県	38.2



# エリア別ランキング

\* 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています  
 \*\* =：同順位の大学あり/ー：各分野の順位が201位以下のためスコア非表示  
 \* 公式サイトでは全ランキングを掲載しています

北海道東北		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
1	国	東北大学	宮城県 84.1	80.6	96.6	73.9	83.0
2	国	北海道大学	北海道 73.8	83.4	94.1	72.3	79.6
3	国	国際教養大学	秋田県 52.8	93.0	71.0	100.0	77.2
4	国	会津大学	福島県 63.9	76.8	33.9	74.0	65.0
5	国	秋田大学	秋田県 58.2	64.8	60.7	48.4	58.6
6	国	帯広畜産大学	北海道 60.2	56.3	57.7	52.1	57.0
7	国	山形大学	山形県 54.8	68.9	55.8	33.2	54.9
8	国	公立はこだて未来大学	北海道 50.0	73.0	47.3	40.4	54.5
9	国	秋田県立大学	秋田県 57.9	64.9	52.6	-	52.6
10	国	岩手大学	岩手県 48.3	60.2	63.4	34.8	51.6
11	国	札幌医科大学	北海道 78.5	50.2	19.4	-	50.0
12	国	北見工業大学	北海道 46.0	52.5	52.5	45.0	47.8,48.8
13	国	福島県立医科大学	福島県 76.5	-	19.6	-	46.8,47.6
14	国	福島大学	福島県 45.4	55.5	39.0	39.9	46.2,46.7
16	国	小樽商科大学	北海道 42.7	49.8	55.8	41.0	45.0,45.9
17	国	岩手県立大学	北海道 30.3	71.9	24.2	48.0	38.3,44.8
17	私	東北学院大学	宮城県 49.2	57.9	27.8	-	38.3,44.8
17	私	東北学院大学	宮城県 29.5	63.4	46.4	31.4	38.3,44.8

北関東・甲信越		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
1	国	筑波大学	茨城県 74.1	84.9	94.4	59.6	77.7
2	国	長岡技術科学大学	新潟県 61.4	69.3	68.4	72.1	67.1
3	国	信州大学	長野県 57.9	70.1	62.9	35.2	57.8
4	国	新潟大学	新潟県 57.5	72.8	51.4	38.8	57.4
5	国	宇都宮大学	栃木県 50.2	64.8	63.8	38.7	54.5
6	国	群馬大学	群馬県 61.1	60.3	55.7	32.5	53.8
7	国	茨城大学	茨城県 47.3	67.4	53.2	33.6	51.9
8	国	山梨大学	山梨県 57.2	60.3	43.2	66.7	46.8,47.6
9	国	群馬県立女子大学	群馬県 -	58.5	-	57.5	38.3,44.8
10	国	茨城県立医療大学	茨城県 56.2	52.5	-	-	38.3,44.8
10	国	国際医療福祉大学	栃木県 41.8	61.3	-	43.4	38.3,44.8
10	私	共愛学園前橋国際大学	群馬県 -	61.6	-	69.5	38.3,44.8
10	私	筑波技術大学	茨城県 59.4	-	-	-	38.3,44.8
10	私	都留文科大	山梨県 -	72.4	-	48.0	38.3,44.8

北陸・東海		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
1	国	名古屋大学	愛知県 78.2	80.5	96.1	66.9	79.5
2	国	金沢大学	石川県 65.9	76.5	58.4	70.6	66.9
3	国	豊橋技術科学大学	愛知県 68.5	61.7	45.2	63.1	63.1
4	私	豊田工業大学	愛知県 76.8	56.1	57.8	48.6	61.9
5	国	名古屋工業大学	愛知県 59.1	62.2	63.3	39.8	56.8
6	国	福井大学	福井県 60.5	60.0	56.1	43.6	56.3
7	私	南山大学	岐阜県 35.2	70.7	50.6	67.9	54.9
8	国	岐阜大学	岐阜県 58.4	56.2	61.8	37.1	54.0
9	国	富山大学	富山県 56.4	59.7	55.9	36.2	53.3
10	国	静岡大学	静岡県 51.1	63.3	55.2	37.9	52.8
11	国	静岡国立大学	静岡県 58.7	62.1	42.4	34.5	52.3
12	私	名古屋外国語大学	愛知県 -	65.1	37.2	83.7	51.7
13	私	名古屋市立大学	愛知県 68.8	49.2	42.7	33.2	51.6
14	私	三重大学	三重県 52.5	58.5	50.8	37.9	51.1
15	国	浜松医科大学	愛知県 47.3	56.5	30.3	64.0	50.7
16	私	金沢工業大学	石川県 80.6	-	19.4	-	48.9,49.7
18	私	名古屋商科大学	愛知県 -	66.4	34.8	80.6	47.8,48.8
19	私	富山県立大学	富山県 59.8	55.8	38.2	-	46.8,47.6
20	私	愛知医科大学	愛知県 75.7	-	-	-	46.2,46.7
21	私	名城大学	愛知県 -	62.1	45.4	52.4	45.0,45.9
21	私	名城大学	愛知県 36.9	60.2	47.2	36.0	45.0,45.9

近畿		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
1	国	京都大学	京都府 83.4	78.7	98.4	69.1	81.5
2	国	大阪大学	大阪府 78.0	77.2	97.9	68.1	78.9
3	国	神戸大学	兵庫県 66.1	75.4	83.4	55.5	69.5
4	国	京都工芸繊維大学	京都府 59.3	67.1	65.4	67.8	64.3
5	私	立命館大学	京都府 42.3	78.8	68.5	66.8	62.3
6	私	同志社大学	京都府 40.9	77.4	63.7	57.2	58.8
6	私	関西学院大学	兵庫県 40.1	76.7	57.7	64.4	58.8
8	私	大阪府立大学	大阪府 65.8	62.4	65.6	34.1	58.4
9	公	神戸市外国語大学	兵庫県 34.2	68.3	55.6	84.9	58.0
10	公	関西外国語大学	大阪府 61.6	56.1	67.6	39.3	56.5
11	私	関西大学	大阪府 -	68.4	56.0	83.2	55.2
12	私	近畿大学	大阪府 43.6	70.9	57.6	44.4	54.0
13	私	龍谷大学	京都府 41.6	75.0	57.6	40.7	54.0
14	私	京都外国語大学	京都府 37.0	65.1	48.4	49.6	49.8
15	私	京都産業大学	京都府 -	59.2	33.8	81.1	48.9,49.7
15	私	京都産業大学	京都府 34.8	68.6	49.6	46.4	48.9,49.7
18	公	滋賀県立大学	滋賀県 78.6	-	19.4	37.3	48.9,49.7
18	公	兵庫県立大学	兵庫県 54.0	51.1	54.6	31.7	47.8,48.8
18	公	京都府立医科大学	京都府 82.8	-	19.4	-	47.8,48.8
21	私	奈良女子大学	奈良県 54.4	49.9	42.4	40.6	47.8,48.8
21	私	兵庫医科大学	兵庫県 81.2	-	19.4	-	46.8,47.6
21	私	奈良県立医科大学	奈良県 36.3	61.8	54.4	39.0	46.8,47.6
24	私	同志社女子大学	京都府 77.3	-	-	43.1	46.8,47.6
24	私	大阪医科大学	大阪府 32.4	64.0	48.9	-	46.2,46.7
26	私	滋賀大学	滋賀県 75.5	-	-	-	46.2,46.7
26	私	滋賀大学	滋賀県 37.1	55.8	55.8	35.0	45.0,45.9

首都圏		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
=1	国	東京大学	東京都 86.5	79.8	94.1	64.0	81.2
=1	私	東京工業大学	東京都 80.1	80.8	92.8	74.5	81.2
3	私	国際基督教大学	東京都 52.8	90.5	60.6	97.6	74.3
4	私	早稲田大学	東京都 52.7	79.3	93.0	74.6	71.5
5	私	慶應義塾大学	東京都 60.8	76.3	93.7	58.2	70.2
6	国	東京農工大学	東京都 51.3	78.4	76.6	70.9	67.4
7	私	上智大学	東京都 69.8	68.5	69.4	57.4	66.9
8	私	東京外国語大学	東京都 43.4	82.8	66.3	81.9	66.5
9	国	千葉大学	千葉県 63.3	75.9	72.0	50.2	65.9
10	国	お茶の水女子大学	東京都 64.2	76.9	55.7	55.0	64.8
=11	国	東京海洋大学	東京都 63.1	69.4	63.6	55.7	63.6
=11	国	東京理科大学	東京都 84.2	58.2	29.4	64.0	63.6
=12	国	横浜国立大学	神奈川県 54.0	70.2	72.6	60.8	63.2
14	国	芝浦工業大学	東京都 48.8	71.5	61.6	66.9	61.3
15	私	横浜市立大学	神奈川県 35.8	82.6	47.1	76.8	61.2
=16	私	横浜国立大学	神奈川県 69.8	69.9	55.5	44.9	61.2
18	私	電気通信大学	東京都 64.9	78.6	69.5	35.6	60.7
19	国	東京理科大学	東京都 64.9	62.0	65.1	45.4	60.2
20	私	津田塾大学	東京都 58.4	69.8	67.8	43.0	59.7
21	私	立教大学	東京都 38.2	79.4	57.8	64.0	58.9
22	私	学習院大学	東京都 43.3	70.8	62.6	63.6	58.6
23	私	明治大学	東京都 41.7	77.8	63.7	48.6	57.4
24	私	中央大学	東京都 45.1	75.9	57.2	41.2	55.5
25	私	聖路加国際大学	東京都 65.5	56.8	-	64.1	55.2
26	私	東洋大学	東京都 -	79.5	48.9	70.7	55.0
27	私	法政大学	東京都 39.2	76.4	57.4	46.7	54.8
28	私	青山学院大学	東京都 35.1	76.2	49.4	49.3	54.2
29	私	創価大学	東京都 37.7	53.6	49.8	85.4	54.0
30	私	埼玉大学	埼玉県 47.9	62.1	56.4	44.8	52.9
31	私	順天堂大学	東京都 66.5	55.5	38.6	-	51.2
32	私	桜美林大学	東京都 -	68.2	54.6	71.0	50.7
33	私	武蔵大学	東京都 29.2	72.9	52.6	53.8	50.5
34	私	昭和女子大学	東京都 32.6	72.9	30.0	60.4	49.8
35	私	獨協大学	埼玉県 -	70.4	55.5	54.4	48.9,49.7
=36	私	北里大学	東京都 57.9	56.0	50.7	-	48.9,49.7
=36	私	東京農業大学	東京都 42.0	67.3	57.6	-	48.9,49.7
=39	私	明治学院大学	東京都 30.0	71.4	33.7	-	47.8,48.8
=39	私	成蹊大学	東京都 39.2	63.5	53.4	34.4	47.8,48.8
=41	私	日本女子大学	東京都 43.9	54.4	54.8	35.3	46.8,47.6
=41	私	東京慈恵会医科大学	東京都 73.4	-	20.2	-	46.8,47.6
=41	私	工学院大学	東京都 47.5	51.8	49.4	37.2	46.8,47.6
=41	私	日本医科大学	東京都 36.3	69.8	47.9	-	46.8,47.6
=45	私	帝京大学	東京都 75.7	69.8	47.9	31.3	46.2,46.7
=45	私	東京国際大学	東京都 36.4	65.8	45.9	34.1	46.2,46.7
=45	私	東京女子大学	東京都 -	58.8	33.0	81.1	46.2,46.7
=49	私	千葉工業大学	千葉県 32.2	63.9	43.6	46.6	46.2,46.7
=49	私	玉川大学	東京都 35.0	69.8	45.1	-	45.0,45.9
=49	私	東海大学	東京都 38.1	52.9	52.4	39.3	45.0,45.9
=49	私	東京都市大学	東京都 37.9	61.9	45.1	33.5	45.0,45.9
=49	私	東京都市大学	東京都 39.1	56.1	45.7	42.3	45.0,45.9

中国・四国		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
1	国	広島大学	広島県 66.5	79.0	78.4	68.9	72.6
2	国	岡山大学	岡山県 60.6	71.9	61.0	60.0	63.9
3	国	鳥取大学	鳥取県 61.2	62.3	56.2	37.1	55.9
4	国	愛媛大学	愛媛県 55.6	63.0	61.0	39.4	55.4
5	国	山口大学	山口県 52.8	69.5	46.2	43.6	54.9
6	国	徳島大学	徳島県 62.2	58.4	58.1	33.0	54.6
7	国	高知大学	高知県 56.7	71.4	48.6	35.5	54.2
8	国	島根大学	島根県 52.7	58.7	51.6	39.4	53.0
9	国	高知大学	高知県 58.1	58.5	49.1	33.2	51.8
10	国	香川大学	香川県 55.2	55.3	53.1	32.7	50.4
=11	私	広島工業大学	広島県 31.7	55.9	47.8	-	38.3,44.8
=11	私	岡山理科大学	岡山県 32.0	52.8	43.8	-	38.3,44.8
=11	私	岡山立広島大学	岡山県 49.4	51.7	-	41.1	38.3,44.8
=11	私	山口県立大学	山口県 33.7	55.5	-	41.1	38.3,44.8

九州・沖縄		都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Internationality	総合 Overall
1	国	九州大学	福岡県 76.4	79.9	97.4	70.9	79.7
2	私	立命館アジア太平洋大学	大分県 33.7	84.3	60.4	99.0	66.2
3	国	熊本大学	熊本県 63.6	70.9	59.3	59.1	64.2
4	国	九州工業大学	福岡県 56.4	74.0	59.4	51.0	61.1
5	国	福岡女子大学	福岡県 49.4	71.9	32.1	83.8	60.3
6	国	長崎大学	長崎県 59.5	68.4	56.0	47.9	59.3
7	国	佐賀大学	佐賀県 55.6	61.7	51.0	38.4	53.2
8	国	鹿児島大学	鹿児島県 57.2	61.9	49.8	35.2	53.0
9	私	北九州市立大学	福岡県 33.7	71.1	53.0	55.7	52.4
10	私	西南学院大学	福岡県 -	71.1	51.4	53.1	48.9,49.7
=11	私	宮崎大学	宮崎県 60.2				